

学校における新型コロナウイルス感染症予防に関するアンケート調査

668 件の回答

[分析を公開](#)

①学校の所在地（47都道府県）

 コピー

668 件の回答



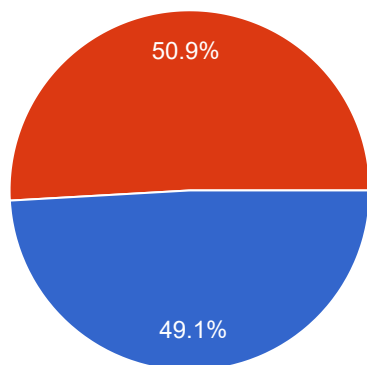
- 01 北海道
- 02 青森県
- 03 岩手県
- 04 宮城県
- 05 秋田県
- 06 山形県
- 07 福島県
- 08 茨城県

▲ 1/6 ▼

②学校の区分

 コピー

668 件の回答

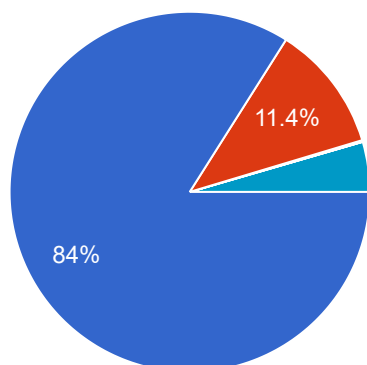


- 小学校
- 中学校

③回答者

 コピー

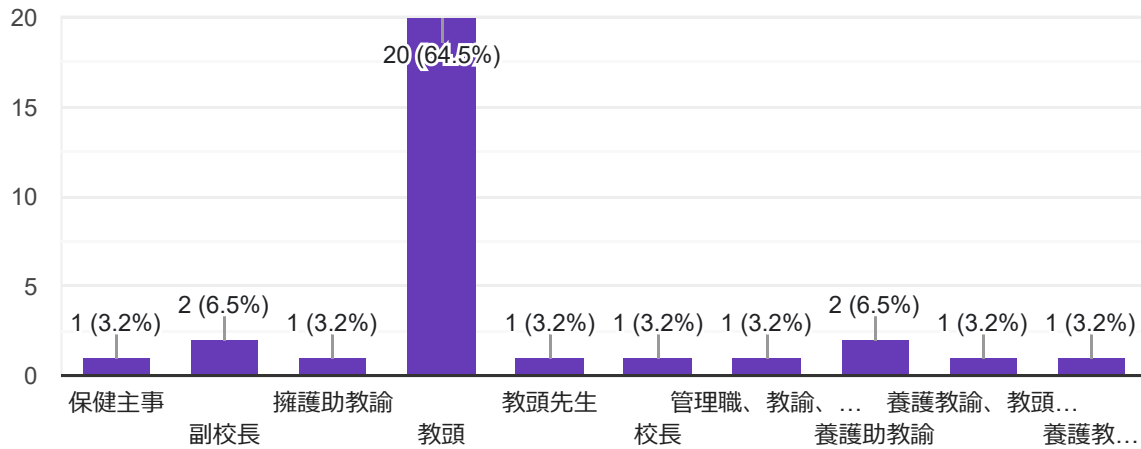
668 件の回答



- 養護教諭
- 教員
- 内科学校医
- 眼科学校医
- 耳鼻科学校医
- その他

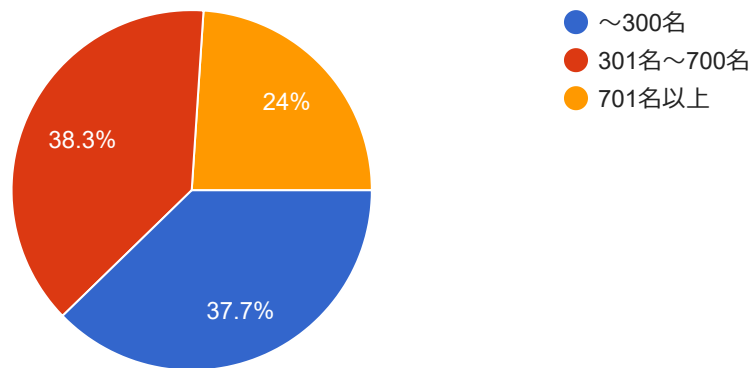


31 件の回答



④生徒数

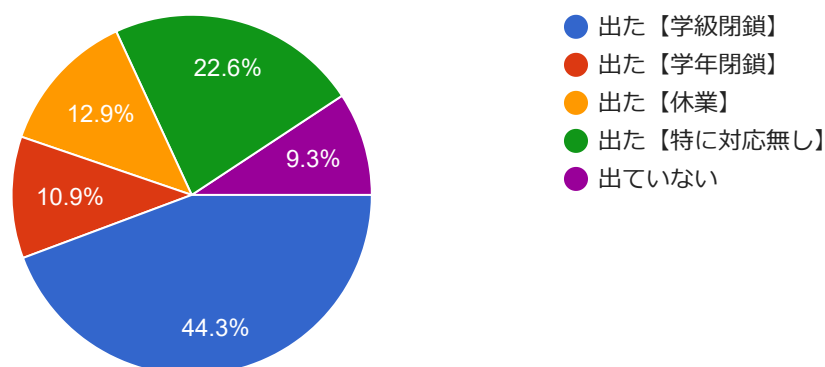
668 件の回答



1. 生徒の感染についてお聞きます

(1-1) 昨年（2021年）、クラスあるいは学年で、生徒の感染者が出ましたか？ 感染者が出た場合は、その対応を教えてください。

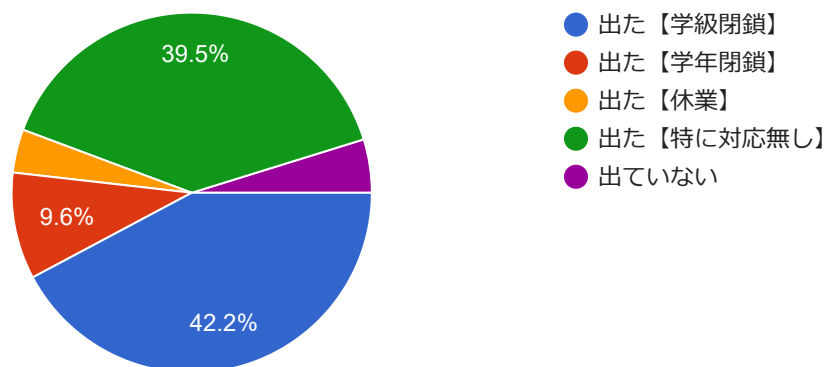
668 件の回答



(1-2) 今年（2022年）、クラスあるいは学年で、生徒の感染者が出ましたか？ 感染者が出た場合は、その対応を教えてください。



668 件の回答



(2) 生徒に感染者が出たことについて、何が改善すべき点であったと考えられますか？（自由記載）

228 件の回答

特になし

なし

換気

特にありません

基本的な感染症対策の徹底（教員も含め）

上記の質問がわからない。感染者は出たが、【】内どれも当てはまらない。休業ってなんですか？本校の生徒は家族感染だったので、クラス内のクラスターなどはない。改善点はない

改めて三密、アルコール消毒、マスク、手洗いなどを見直しました。家族感染が多かったので家庭の協力をもっと呼びかけるべきだったか？

1-2 出たが学級閉鎖は行っていない

消毒場所が少なかった

家庭内感染の注意を呼びかける

感染者がでること事態は対処のしようがないと思いましたが、それに関連する濃厚接触者の定義の周知とその運用の撤廃

保護者理解、発熱等の風邪症状があった時は病院受診すること。

個人情報保護の対応

インフルエンザ並みのインフルエンザ並みの扱いで良いかと。

学校でやれる感染予防対策は行っていた。これ以上は難しい。

自然教室を実施したため感染が拡大したと思われる。

学校外での生活、部活動の保護者車移動での注意の徹底

2021年、2022年現在までの生徒の感染者は、全員家庭内感染によるものであるため、学校の感染対策については、特になし。

校内の情報共有



2020, 2021, 2022年と慣れや変異株の危険性が変わってきたことから対応が薄くなってきたこと、未知のウイルスにもかかわらず地教委や学校判断が主となっていたこと

昨年度と今年度始めは、1人感染者が出ただけでクラス全員検査をしており、検査は学校でするため負担が大きかった。土日に検査することも何度もあり、土日出てくることも多かった。

本校での感染はすべて家庭内感染でした。学校で出来る感染症対策(換気等)と併せて、家庭での感染症対策の呼びかけを続けていきたいと思います。

本人や家族に発熱症状等がある場合は、登校を控え家庭で経過観察をすることを強く徹底すべきであった。

部活動の健康観察のあり方

濃厚接触の基準が明確であったが、その対応の為の人員の確保

体調が悪くったら休みことを徹底できていなかった

上記の感染者が出た場合の対応についてですが、学級閉鎖としていますが、人数や感染状況によって対応は異なります。

密を避ける

今のところ家庭内での感染しかないので特に改善すべき点はないと考えている。日頃からアルコール消毒、屋内でのマスクの着用、黙食を行っており、感染症対策としては十分にできていると思う。

水際対策、保護者には家族に風邪症状がある場合は、登校を控えさせることになっているが、これくらい大丈夫だろう、と考える家庭が存在する

部活

家庭における感染予防対策

学校外における飲食時での対策について指導

閉鎖措置開始の時期

学校での感染対策は十分できているため学校内での感染やクラスターはほとんど起きていない。家庭内感染がほとんどである。

さらに部活動での密を避ける。

基本的に家庭内感染からの感染であり、校内での感染拡大ではなかったため校内の対策については特に変更なし

部活動においての同乗



(1-1)(1-2)について、市教委から同日に同じクラスで複数名発生、若しくはクラスの20%濃厚接触者と陽性者がいる場合は学級閉鎖とし、それ以外は個人の出席停止対応とするなど、ガイドラインがあるので「特に対応なし」なわけではない。

何も無し 感染予防に最善をつくしている

家族間での感染が主流でした。

他校の生徒との接触がある場所、塾や社会体育への参加について。

部活動の休止

家庭内感染の予防方法の啓発

熱が出なくとも、咽頭痛や咳の症状ですぐ判断することが大事であると考えられた。

特にありません。

家族含めた健康状況

子どものワクチン接種を国に進めてほしかった。

家庭での健康観察の徹底（かぜ症状があるのに登校させたため）

クーラーをつけていたので換気が不十分だったかもしれないと反省した

改善すべき点はありません

今年5月の基準では、1名で学級閉鎖。今なら閉鎖無し

家庭内の感染でありそれ以上学級での広がりにはなかった。2021年の学級閉鎖は1人でも感染者が出たら学級閉鎖という扱いだった。

学校で発熱者が出た時の判断

休み時間の生徒の距離が近い。

濃厚接触者なのに登校していた児童がいたので、保護者との認識の再確認が必要だった。

活動をしている限り、感染者はでるので、仕方がない。

校内での感染が疑われる者については、正しいマスクの着用を改善すべきであった。

家族内感染予防についての家庭への啓発

部活動中の会話など



休日の過ごし方、家庭内で感染を防ぐ方法の伝え方

休日の情報収集の方法

校内でのクラスター等ではなく、家庭内感染が主だったため、改善すべき点はなかった。

学校内での感染拡大は起こっていないので、特にはない

昨年度は男女別で学年での体育実技の授業をしていたため屋外での活動にもかかわらず濃厚接触者が該当学年の男子全員となり休校しなければならなかった。

学校での改善案は特になし。

学級閉鎖処置等への対応について、教育委員会や保健所とのやり取りに時間がかかりすぎたこと。それにより、初期対応の遅れがあった。

教育委員会の指示に従った対応なので特に問題はなし

基本的な感染対策の徹底

ありません

発熱や風邪症状がでた職員、生徒またはその家族の出勤・登校を控えることの徹底。

特になし（家族内での感染によるため）

ない。感染症ってこんなものだった

校内での児童同士の感染はなかったので、保護者・部活指導者への感染予防の再周知

給食時の黙食、換気の徹底

授業の学習形態の改善、黙食の徹底

換気、マスク着用、消毒の励行、黙食にしっかりと取り組むべきだった。

手洗いとマスク着用、黙食の徹底をもっとすべきだった点

オミクロン株については換気的重要性

特になし

特記事項なし

教室の換気の徹底

三密を避けて、換気を行うこと。マスクをしっかりと着用。黙食



長期期間中だったので特になし。始業式に感染症対策の全体指導を行いました。

学級内や学年内、学校内に情報が洩れないようするための方法

家庭内感染が主因だったため改善は困難

修学旅行後だった。感染対策はしていたが、感染者が出た。ある程度は仕方がない。

感染経路が学校内なので、学校が改善すべきことはない。

感染防止のため、教室の消毒の在り方や密の状態防止の再確認

換気、手洗いの徹底

予防行動の改善

校内での感染はほとんど見られなかったことから、家族内での感染を防ぐような生活をさらに啓発していく。

特になし 校医と教育委員会の指示に従いました

不織布マスクの着用を呼びかけた。

換気の強化

家庭内感染が大多数であったので、特に学校としては改善すべき点はなく、今までの感染症対策をしっかりと行うことを心がけました。

消毒の徹底

明確な対応がない。せめて部活や行事は市内同じ対応ができるマニュアルがあってほしいです。コロナの対応が始まってから、学校単位で判断することが多く困りました。

家庭内感染だったため特になし。

体調管理

他 114 件の回答が非表示になっています

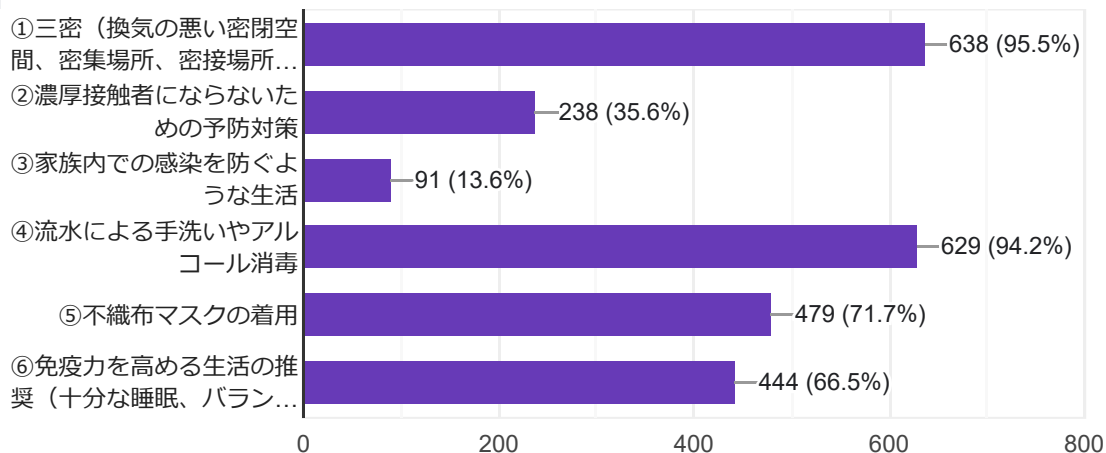
2. 学校教育の中で、特に重点を置いている感染予防対策は何ですか？



①～⑥の中から、該当するものをお選びください（複数回答可）

コピー

668 件の回答

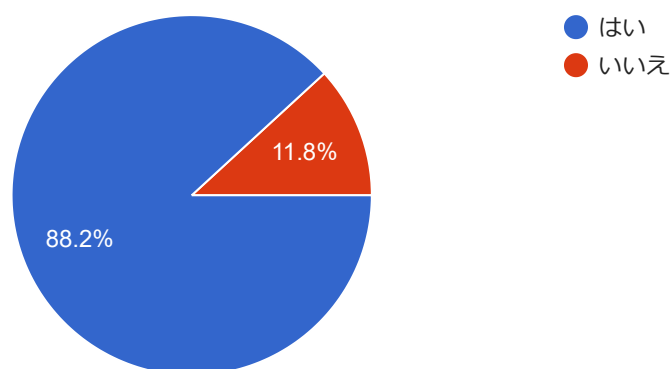


3. 教室でおこなう授業中の感染予防対策についてお聞きます

(1) 生徒にマスク着用を義務付けていますか？

コピー

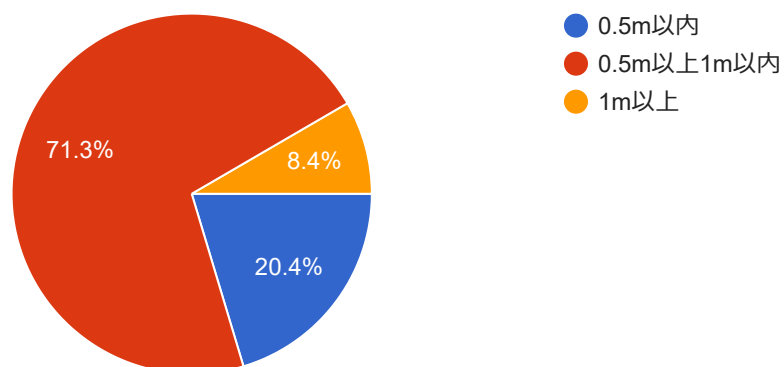
668 件の回答



(2) 生徒の机は、隣どうし、どの程度離していますか？

コピー

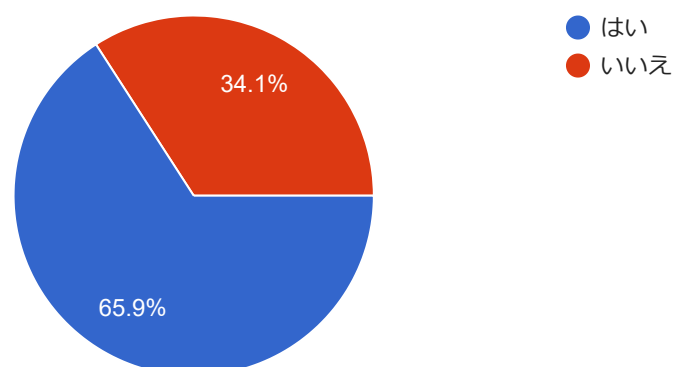
668 件の回答



(3) 生徒同士が、向かい合う授業は行っていますか？

コピー

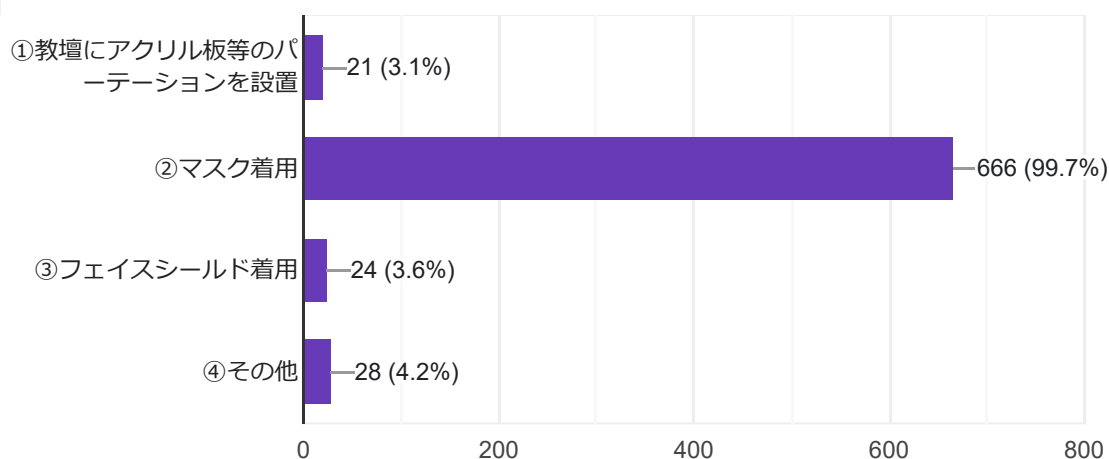
668 件の回答



(4) 先生は、どのような予防対策で授業を行なっていますか？（複数回答可）

コピー

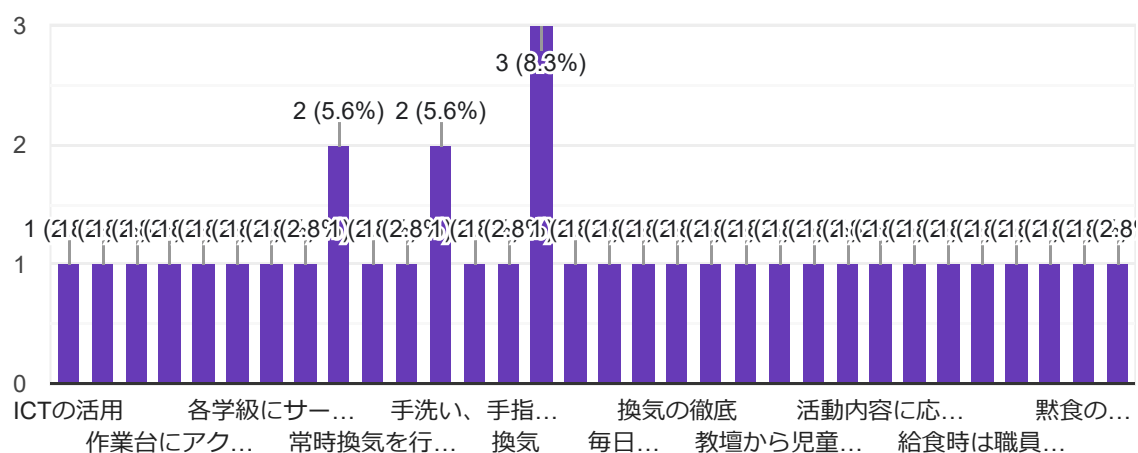
668 件の回答



↑「その他」記載欄

コピー

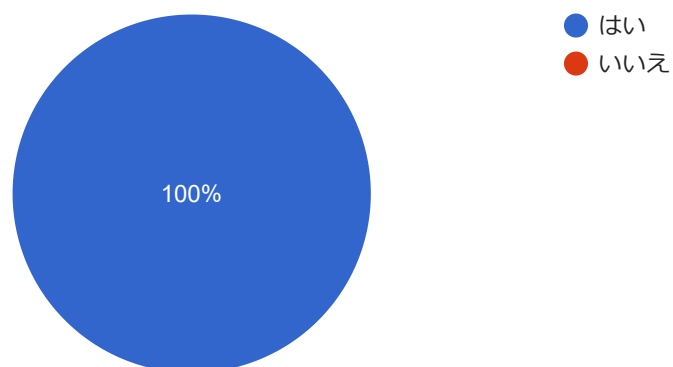
36 件の回答



(5) 窓や扉の換気はおこなっていますか？

 コピー

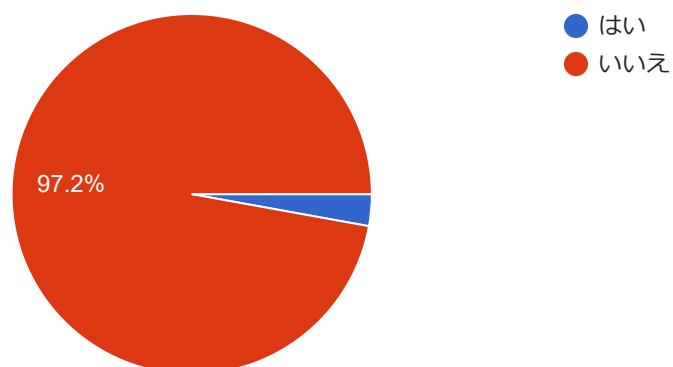
668 件の回答



(6) 生徒の机にアクリル板等のパーテーションは置いてありますか？

 コピー

668 件の回答



(7) このほかに、教室内で特に注意していることがありましたら、教えてください
(自由記載)

248 件の回答

サーキュレーター設置

常時換気

特になし

黙食

なし

前向き給食、黙食

感染状況によりグループ活動を行わない

図工室ではパーテーション使用

エアコンをつけていても窓を開けて換気をしている。教室に入るときは必ずアルコール消毒をする。

給食時は市松模様に2分割（距離1.5m以上）

共用部分の消毒

湿度なども十分気をつけている

給食時のみパーテーション使用、一方向に向いて黙食

アルコール消毒の徹底

サーキュレーター・扇風機などの設置

換気扇を常にまわし、空気清浄機をつけている。二酸化炭素濃度計測器も各教室に設置。

アルコール設置

座席を隣合せにするのではなく、蛇腹状にしている。

教室の入室前に、手指消毒をする。

タブレットでの健康観察と検温、掃除の徹底



サーキュレーターを各教室に設置して常時換気。清掃時にマイペット(界面活性剤)を使用した拭き取り。

黙食。(1)は義務づけではないが着用するよう指導をしている。

給食時の黙食

給食の前には一人一人手洗いうがいとあわせて手指消毒をしている。定期的に水分補給をするよう声かけをしている。

手洗いの徹底。

空気清浄機

換気のために6箇所以上外気の入るような場所を設定している。また、サーキュレーターを外向きにして、換気を行なっている。

各教室にサーキュレーターを設置し換気を行っている

常時換気扇作動

換気扇による空気の流れを作る

授業終了時の強制換気

大きな声を出さない。

健康観察の回数を増やし、早期発見、早退させる。

出入口の前後の戸は常に閉めずに解放しておく。

廊下の窓も開けている。サーキュレーターを常時回している。

常時数カ所の窓の開放、扇風機をつけ空気を外へ、CO2モニター設置

サーキュレーター、二酸化炭素濃度測定器の設置

常時換気，給食時の黙食

エアコン・扇風機稼働し窓開けで換気

大きな声でしゃべらない

各教室入り口にアルコール消毒設置

対角線上の窓を常時開放し換気をする。



換気システム（ロスナイ）設置、常時天窓開放等

消毒

給食前の完全換気と給食台の消毒は毎日徹底して行う

机が近くならないようにテープで位置を示している、CO2モニター設置

下校時の児童机の消毒

特にありません。

定期的な全換気

黙食の徹底

給食前の机上消毒

特に注意をする時は話し合い活動を短時間にしたり、小声で発言したりしている

入室前の手指消毒

大きな声を出さない

サーキュレーター

常時換気テープなどで表示し徹底

前を向いての黙食

サーキュレーターによる空気の循環

前を向いて喋らないで給食を食べる

教室では加湿や空気清浄を行っている

サーキュレーター、空気清浄機の設置

アルコール消毒薬の設置。サーキュレーターの使用。

エアコンの常時稼働、常時換気、出入口での手指消毒

毎日、配膳台を拭くための雑巾を次亜塩素酸で洗っている

生徒のマスクは義務ではなく、推奨、自覚と思いやりを持って生活するようにしています

エアコン使用時も換気をする。手の消毒。



手指消毒用のアルコール設置

大声を出さない、給食時は黙食など。

Co 2 モニター設置

特にありません

冬季の加湿

マスク着用は義務ではなくお願いをしています。

給食前・放課後の消毒

共有器具の消毒、人の机は使用させない

C02モニターの設置

二酸化炭素濃度を常時測定し、換気の必要なタイミングを見える化するなど、児童が主体となって感染予防する意識を高めた。

各教室にアルコールを設置。給食前、下校時に机上の消毒。空気清浄機の活用

歌唱指導の禁止、話し合い活動を短時間にする、教室の外に出て戻ったら消毒する。

C02モニター設置

co2測定器を置き、換気のタイミングを知らせている

加湿空気清浄機、co2モニターの設置

向いあう活動は最小限、サーキュレーターを活用した換気

空気清浄機やサーキュレーター、C0 2 測定器、定期的に消毒などを実施している

冬季は加湿器を設置して加湿している。

給食時の黙食を、何人も学級担任の選生方に伝えている。黙食。

常時、定期的な換気、C02モニターの設置、マスクを外している時間（給食、はみがき等）はしゃべらない指導

音楽室はパーテーションを設置

常時換気をしているので、冬季は校舎内でも防寒着の着用を許可している。



扇風機の使用、空気清浄機の使用、共有物の消毒

対角線に窓を空けて換気する。机等の消毒。手洗いうがいの徹底。

教室に入る前に手指消毒を行っている

換気 消毒

エアコン使用時も窓を開け、常時換気をしている。

エアコンと扇風機を使った、換気の充実

教室の出入り口に手指の消毒液を置いて、屋外で活動した後や不特定多数が触れる教材等を使用した後に消毒させている。

空気清浄機を使えるようにしている

対角方向の窓を開けて換気する。5分間休憩ごとの換気の徹底。

給食時にクラスを分散させ、少人数で教室を分け、食事をとっている。

給食前に机を消毒している

入り口に消毒液を置く

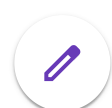
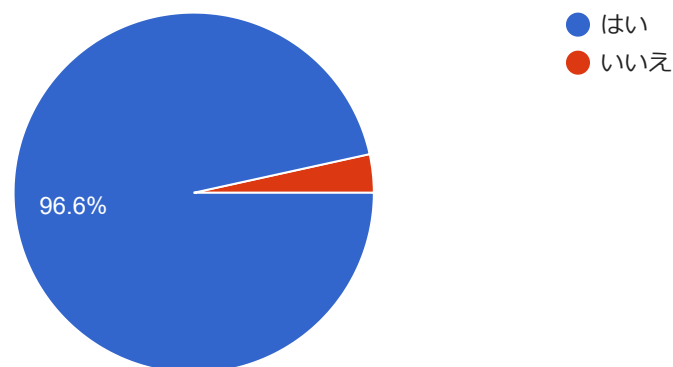
他 141 件の回答が非表示になっています

4. 体育の授業や運動部活動での感染予防対策についてお聞きます

(1) 屋外での運動の際は、生徒へマスクを外すように推奨していますか？



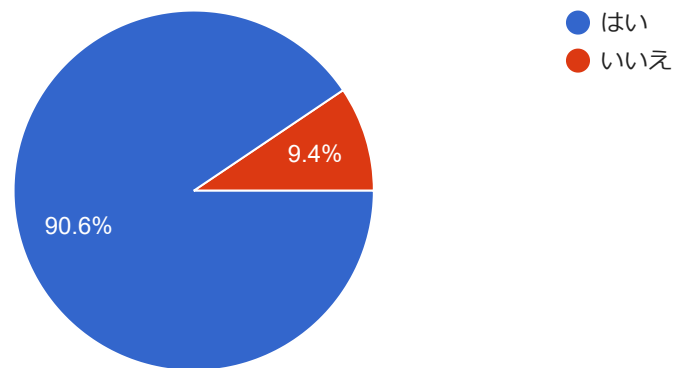
668 件の回答



(2) 体育館等、屋内での運動の際は、生徒へマスクを外すように推奨していますか？



668 件の回答



(3) 体育や部活動で工夫している予防対策がありましたら、教えてください（自由記載）

260 件の回答

距離をとる

授業前後の手洗いの指示、柔道など身体接触する内容は基本やらないが感染状況を見ながらの実施

気温、運動内容に応じてのマスクの着脱

換気 更衣室も密にならない 時間短縮

距離を保てるように活動内容や方法を工夫している。

長距離走や運動強度の高い運動はマスクを外すようにしている

共有器具の消毒、活動後の手洗い手指消毒

マスクを外した際は、距離をとる。会話をしない。共用の道具の使用前後に、必ず、消毒を行う。

声を出す機会を極力少なくする

マスクを外すときはソーシャルディスタンスを極力保つ。活動前後の手指消毒。

各部にアルコールボトルを配布

活動前後、適宜、手洗い・消毒の実施

①施設と使用器具の消毒 ②屋内競技の部活動は、常時換気をする

サーキュレーターや大型扇風機で空気の循環を図る

体育のアップで全員ランニングをやめて、間隔をあけて縄跳びに変更した。運動後は手洗い。

換気。校内の感染状況による活動内容の精査。15%の感染者で5-7日間程度の部活動休止。

マスクを外すように推奨していないが、熱中症予防として距離を置いて外すように伝えていきます。

各部活動にアルコール消毒を渡している。ミーティングなど全員が集合する場面ではできるだけ距離をとるように指導している。共有物に触れた後は手を洗うか消毒をするよう指導している。

運動途中に、マスクをとり休憩をしている。



使用した器具の消毒。

一定の間隔、換気には十分注意するようにしている。

接触の少ない練習メニュー、飲み物の共有の禁止

更衣室でのマスク着用の推奨、私語を控える指導、運動前後の手指消毒

部活動前後の手洗いの徹底。休日時の部活動時の健康観察の徹底。

マスクをはずしているときは、無言。身体接触を伴う活動は避ける。

活動場所の分散

器具、道具等のアルコール消毒

部活動で食事を取る場合の対策

道具を使うため、体育の前後で石鹸で手を洗う

接触が多い内容を避ける

マスクを外す場合は2m以上離れることができる人数でグループわけをする。

用具共用前後の手洗い

共有物の消毒、物を消毒できない場合は手洗い、アルコール消毒

体育館使用時は大型扇風機を回す

教室等と同様の対策で行っています。

提起的な水分補給と休憩。マスクを取る際は私語厳禁。体調に変化があれば無理をしないように指示。

熱中症対策として、スポーツドリンク持参。こまめに水分補給。部室にてはマスク着用、長い時間滞在しない。健康観察のてっぺい。

体育でのマスクは自己判断、部活動でのマスクは外すようになっている。

教室から移動時はマスク着用

密になる体形や接触プレーが予想される種目は避ける

活動前の健康観察、活動前後の寺井

熱中症対策と並行し、夏季は熱中症予防を意識して、マスクの付け外しをさせた。



熱中症とコロナ感染を防止するためにマスクを付けて活動する際には激しい練習は避ける。

教師の指導を受けるときはマスク着用、補水時は無言等

手洗い 消毒

熱中症対策として、暑さ指数を見ながら体育の内容を考えるように全教職員で共通認識をしている。また、暑さ指数が厳重警戒の際は休み時間の外遊びは禁止にしている。

換気を十分に行う。

マスクを外しているときは大声を出さないように指導

特にありません。

手洗いの励行

部室での密集に気を付けたり、着替えの際のマスク着用に気を付けている。

運動の時は外すが、集合して話を聞く時はつけておく

部活動前の検温と記録の徹底、手指消毒

マスクが着用可能な状態・状況であるときは、極力マスクを着用する。

密にならない

マスクを外しているときは距離を取り、話さないことを指導している。

距離をとる、部活動終了前後のアルコール消毒

剣道部は専用のマスクを着用している。

体育の後には手洗いを実施

ソーシャルディスタンスの確保。

運動以外の活動時はマスクを着用させる、事前事後の健康観察、数グループでのずらし休憩

マスクを外したときは人と距離をとって話さない。

密にならないような指導。

プールは一方通行、自由時間は15分以内

接触をしない競技を行う。ストレッチ等はペアで行わない。体育後の手指消毒を行う。



運動時はマスクを外すが、ミーティング時はマスク着用。

換気の徹底。

各部活の顧問の判断による練習内容の工夫

ソーシャルディスタンス

器具の消毒、飲用水等の回し飲み禁止など

ミーティングの際のマスク着用

マスクを外すときはなるべくディスタンスをとり、黙動をお願いしている。

換気 待機時間に密を避ける

熱中症対策のためマスクを外すが話を控えるようにしている。

部活前と終了後の手洗いや手指消毒の徹底、流行状況を見て密にならないように分散しての練習（学年で練習日を分ける、練習場所を分けるなど）

活動時と集合したときは違う。集合時はマスク着用

活動時は、マスクを外させ集合時には、マスクを着用させるなど感染予防意識を高めている。

暑い際はマスクを外すように推奨しています。

開始前、開始後の手指消毒を実施。集合時にはマスクの着用。

体育館の換気、集合時のマスク着用

気化式冷風機、ビッグファンの使用

事前事後に手洗いまたは手指消毒、距離をとる、共有の物は洗濯や消毒をする。教員はマイクを使用している。

児童同士、十分な距離を保つよう声掛けを行っている。

換気をして距離を取る。感染状況に応じて、指導内容を変更する。

健康チェックカードの活用

児童間の距離の確保、マスクを外しているときの指導

間隔をあける

終了後の手洗い



更衣室での密を避けるため、部活着のまま下校。地域の感染拡大状況によっては、対外試合を中止。等

活動前の健康観察の徹底、こまめに手洗いや手指消毒。

マスクの着脱は任意としている。マスクを外す際は、身体的距離を確保させる。

マスクを取る際、話さないことと距離を取る。また、消毒と手洗いの徹底を行う。

教室移動の際におしゃべりしないことと、ソーシャルディスタンスを確保すること。

密にならない。

周りとの間隔をとる。合体のクラス数を減らして行う。

気がゆるむ部室での密を避ける。

- ・活動前の手指消毒の徹底。
- ・部活動開始前の健康チェック。

健康観察の徹底、手指衛生、換気、ミーティング時のマスク着用

部活動前の健康観察を実施している

複数人で触るものがあるときは、消毒を行う

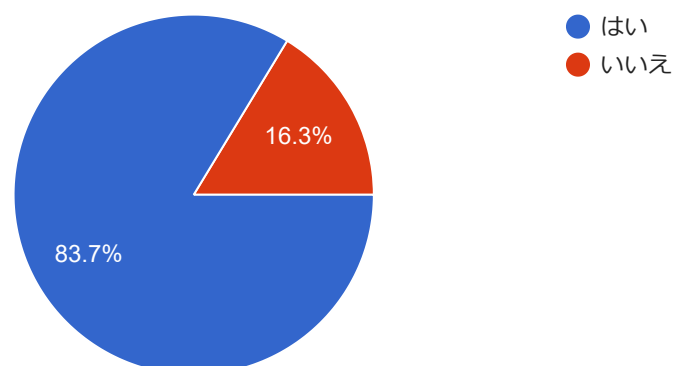
他 159 件の回答が非表示になっています

5. 音楽の授業での感染予防対策についてお聞きします

(1) 発声練習や唱歌の授業および練習は行っていますか？

 コピー

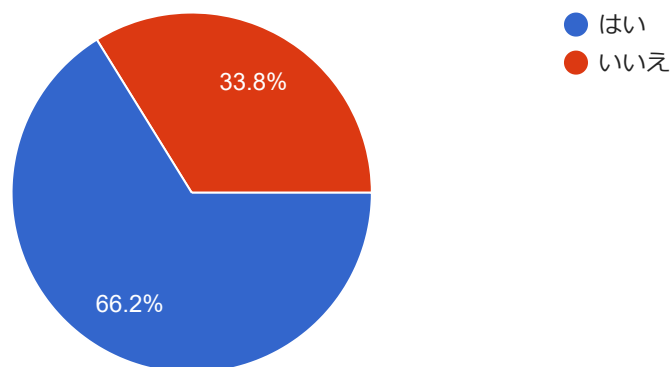
668 件の回答



(2) 口で吹く楽器（管楽器、気鳴楽器等）の授業および練習は行っていますか？



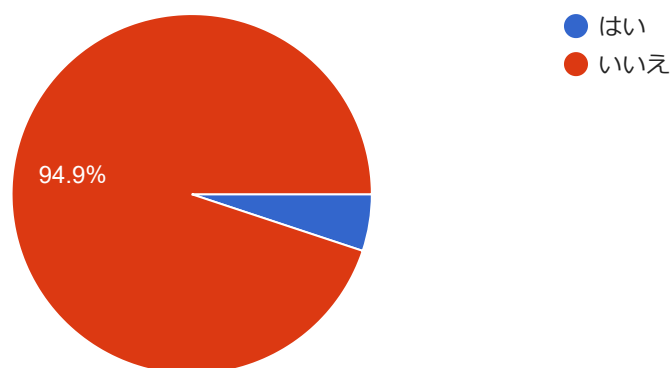
668 件の回答



(3) 音楽室では、生徒一人一人をパーテーションで仕切っていますか？



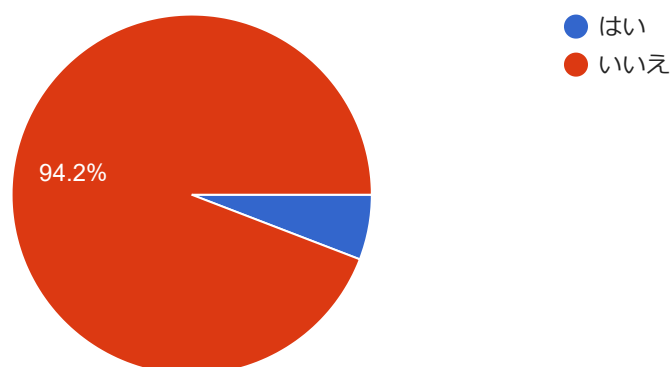
668 件の回答



(4) 生徒はフェイスシールド等をつけて音楽授業を行っていますか？



668 件の回答



(5) 音楽の授業や音楽部活動で、工夫している予防対策がありましたら教えてください（自由記載）

301 件の回答

換気

吹奏楽部の練習時の密回避、音楽室入口付近に消毒を設置

ホールなど広い部屋での活動

手指消毒 フェイスシールド等

演奏時は横との距離を1メートル空ける。リコーダーを吹く際はタオルを敷いて行う。終わった後は椅子を消毒する。

外で授業を行なった

歌唱テストは別室でマスクを外すがパーテーションと距離、換気（100秒）

楽器を使うときは、バンダナを巻き、飛沫が飛ばないようにする。

距離を保つ

マスクをつけたままでの歌唱

マーキングをして距離をとっている

マスク着用。20分以上は同じ部屋で歌わない

クラス全員一斉に歌ったりするのではなく、少人数ごとで歌うようにしている。

距離を十分にとって行う。とれないときは、活動を行わない。

特になし

県の警戒レベルに応じて授業内容を変更する、音楽部活動は屋外で間隔を空けて行う

歌うときもマスク着用。

マスク着用、距離をとること。

マスクの着用、距離をとる

必ず窓を開けて換気をしている。リコーダーなどを吹くときには、できるだけ距離を取り、同一方向を向いて一列に重ならないようにしている。



マスクをしたまま小声で歌う。一方向を向いて距離をとり歌ったり、楽器を演奏したりしている。

発生の際はマスク着用、管楽器演奏の際は少人数で距離を取り実施。

間隔をとる。同時に演奏する人数を減らす。

換気を十分行い、リコーダーを使用した際には、使用した際には、唾などの処理をきちんと行い、消毒するようにしている。

県や市の警戒基準のレベルを参考に、合唱や楽器（口で吹くもの）の使用を行っています。

対面を避ける、流行時は発声を避け、鑑賞にする

生徒は全員同じ方向を向いて授業を受けている。

唱歌や楽器演奏についてですが、感染状況によって対応はその都度変えています。

全員マスク着用

歌唱の際はマスクをして歌う 部活動では、1 mの距離をとる

リコーダーなどマスクを外して演奏するものは、屋外や廊下で少人数で実施している。歌唱は、校内の罹患者の人数によって、方法を考えている。

リコーダーの授業のあとは、机を消毒する

感染レベルに合わせて、発声をしない授業等、行っている

感染状況に応じて、感染リスクが高い活動の実施を調整している。

マスクを着用し、間隔をとって活動している。

- ・活動前後の消毒・距離をとる

常にマスクを着用している。

換気には十分気を付けている。合唱練習などはほかの教室なども使用しながら行っている。

間隔を広くあける。歌うとき等は、1 教室だけでなく3 教室に分かれて歌っている。

レベルに合わせて授業内容を鑑賞などへ変更しながら行っている

発声練習や口で吹く楽器練習の際、密にならず向き合わないよう場所の設定を工夫

マスク着用しリコーダーは振り回さない



吹く時は、互いの間隔を十分に空け、室内の換気を十分に行った上で実施している

マスクを外しての歌唱や管楽器使用時は、窓を開けて外を向いて行う

教室の換気は徹底して行っている。歌を歌う場合は、マスクを着用する。

マスクを付けて行っている。

楽器演奏用のフェイスシールド着用、音楽室の常時換気等

マスク ソーシャルディスタンス

地域の感染対応レベルに合わせて、音楽科の授業内容を変更して行っている。

距離をとる

マスクを着けたまま歌う 鍵盤ハーモニカやリコーダーの演奏後は各自で唾液の始末をする

距離を取る。窓側を向いて演奏、合唱し、対面ならないようにする。

特にありません。

間隔をあける 手指の消毒 マスクの着用

距離をしっかりとる。換気の徹底

金管バンドクラブの活動を休止している。

座席をできるだけ間隔をあけて並べている。

ひとクラス20名くらいなので、十分な感間隔を空けている。

こまめな換気、アルコール消毒をして着席

リコーダー演奏では、演奏中以外こまめにマスク着用をし、対面にならないように注意しています。

間隔をあけること、換気

授業終了後毎のアルコール消毒

換気、サーキュレーター使用し、マスクを着用。合唱は時間を区切って短時間の実施。

発声練習や唱歌、口で吹く楽器を行うときは、極力向き合わないようにして行っている。

常時換気



器楽演奏の学習でマウスシールドを着用

発声の際は、できるだけ距離をとり、15分程と短い時間で行っている。

マスクつけて歌う

口で吹く楽器は、一方向を向いて行っている

広い特別教室で一方向を向きできるだけ距離を取って行っている

音楽室だけでなく音楽室前にある広い部屋（ランチルーム）や廊下で、窓を全開にし、マスクを着用し密にならないように歌唱練習をしている。

マスク着用して歌唱する

クラスを2グループに分け、少人数で間隔を十分にとって合唱や楽器の練習をしている

少人数に分かれて教室を利用する。ソーシャルディスタンスをとって歌う。リコーダーの代わりにキーボードを利用する。

歌唱や口で吹く楽器については、15分以内と時間を決めています。第2音楽室も同時に使い、スペースの確保も意識していただいている。

歌を歌う際には大声でなく通常程度の音量にする。

楽器演奏時、歌唱時以外はマスク着用。常時換気。楽器演奏は半分ずつ行う。歌はマスクを着用して歌う。

換気と手指消毒となるべく距離をとる

前向きの徹底、時間の短縮

換気の徹底。

体育館や武道館など広いスペース確保 また、授業内容で教室変更対応

合唱は広いスペース（体育館、講堂等）や屋外で行っており、距離を十分にとり、一方向を向いて行っている。

歌唱練習は、マスク着用で距離をとって行っている。また、口で吹く楽器の練習は換気を十分に行い、距離をとって行っている。

教室の換気を行い、歌唱はマスク着用の上、楽器の演奏は一斉には行わないよう指導している。

マスク着用で合唱。口で吹く楽器はディスタンス。



吹奏楽部では、顧問が楽器を吹く専用のフェイスシールドを作成し活用した。

生徒同士の距離、大きな声は出さない、鑑賞や琴などの楽器中心の授業

マスク着用の徹底。距離の確保。

声を出す授業においては、換気のよい広いテラスで行っている。

クラス分の電子ピアノの購入

換気の徹底。教室入退室時に手指消毒の徹底、

部屋を複数に分けて、距離が取れるようにして、口で吹く楽器以外を使用した音取りなどをしている。口で吹く楽器の練習は学校では運指のみ行っている。

質問（１）（２）の活動については、地域の感染状況をみながら実施を判断

リコーダーや鍵盤ハーモニカのかわりに、打楽器やアコーディオンを活用したり、リズムうちの活動を増やすことで飛沫防止をしている。

まん延防止等重点措置が出ている時は、リコーダーの練習は吹かずに指のみで行なった。

昨年度の音楽の授業は、フェイスシールドをして練習をしていた。

換気を行い、距離を取る。

歌唱は少なく、児童の間隔をとる。マスクをして同じ方向を向いて歌う。

カバーやタオルを使用して飛散防止

廊下で隣と距離をとって練習している

他 198 件の回答が非表示になっています

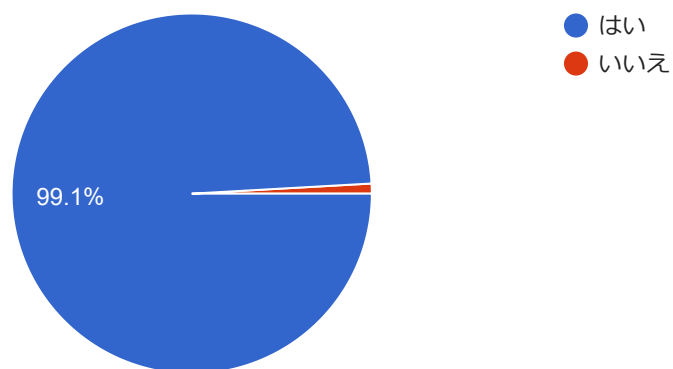
6. 給食での感染予防対策についてお聞きします



(1) 生徒の黙食を徹底していますか？

 コピー

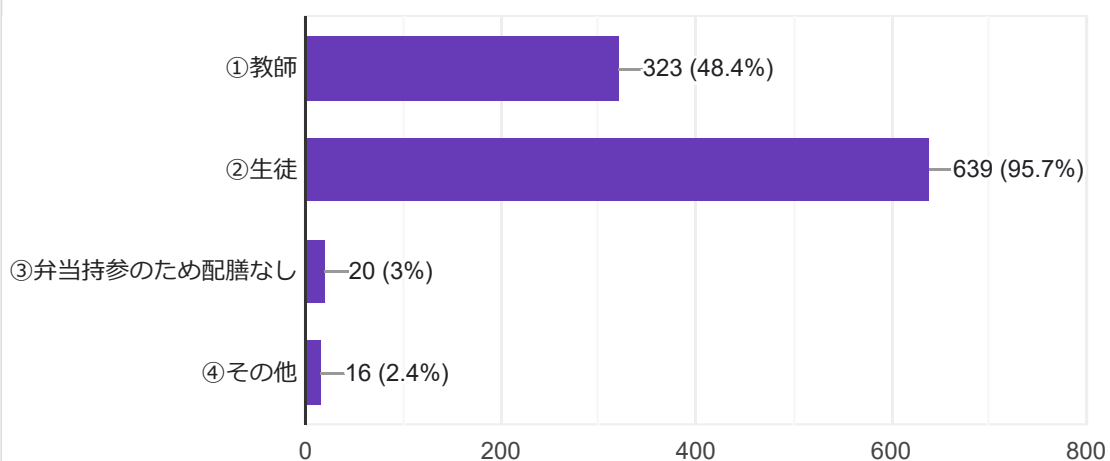
668 件の回答



(2) 給食の配膳は誰が行っていますか？（複数回答可）

 コピー

668 件の回答



↑「その他」記載欄

20 件の回答

各自

むさけらほのら

配膳台等を廊下に設置し、密にならないようにしている。

給食調理員

黙食をするように言っていますが、完全な徹底になってはいないです。

1年生は先生が配食

セルフサービス

おかわりについては、教師がよそう事を徹底している。

（換気、手洗い・消毒、マスクを着用させて） 児童

デリバリー給食ならびに弁当持参なので配膳なし。

給食が弁当型のため、中身に触れることはない。

9月からはランチルームでの食事のため、配膳されているものを取るだけです。

特別支援学級担任

自分が食べる給食を自分でお盆に乗せている

弁当持参以外はデリバリー給食で少人数ですが当番で自分の給食をとっている

支援員

感染状況により判断している。

給食注文者が各自で配膳する

スクールランチのため配膳なし

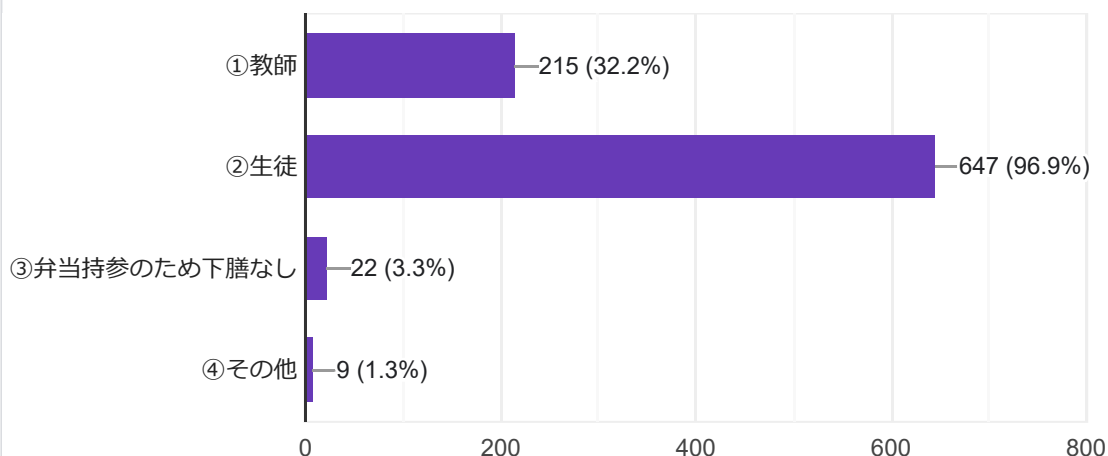
ランチボックスタイプの給食か弁当持参の選択制



(3) 下膳は誰が行っていますか？（複数回答可）



668 件の回答



↑「その他」記載欄

12 件の回答

前向き給食

各自

自分のものは自分で片付ける

（換気、手洗い・消毒、マスクを着用させて） 児童

デリバリー給食ならびに弁当持参なので下膳なし。

特別支援学級担任

牛乳瓶は校務員が洗っている。

準備時、窓、ドアは一時的全開。喫食時、学級担任は教室外の廊下で食べる場合もあり

支援員

配膳台の消毒・給食後各自机上消毒・マスク保管・手指消毒食前後

給食注文者が各自で下膳する

スクールランチのため配膳なし

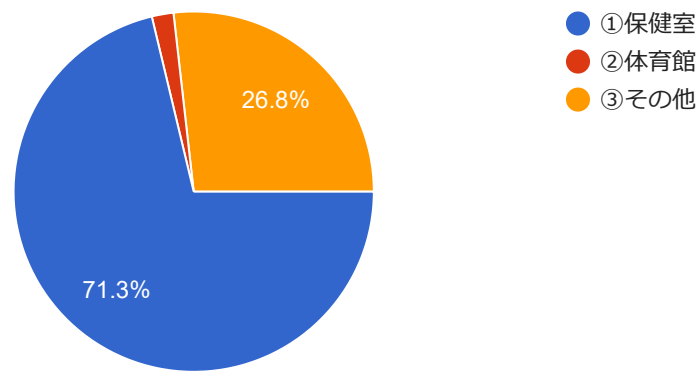
7. 生徒の【内科】健康診断を実施する際の感染予防対策についてお聞きします



(1) 内科健診はどこで行いましたか？

 コピー

668 件の回答



↑「その他」記載欄

181 件の回答

会議室

多目的室

視聴覚室

特別教室

空き教室

広い特別教室

多目的ホール

家庭科室

ランチルーム

図書室

大会議室

ホール

相談室

広い多目的室

図工室

講堂

理科室、会議室、ランチルーム

地域交流室

通常行う保健室よりも広い特別教室

多目的室、保健室

学校ルーム

剣道場



被服室

少し広めの教室

か

総合創作室

保健室と別室とで、分散実施

保健室と調理室

保健室、理科室、図工室

プレハブ

特別教室（多目的室）

3会場に分かれて実施

多目的室（特別教室）

多目的教室と保健室(男女別)

特別活動室

音楽室

多目的教室

保健室が手狭なため、エアコンのある空き教室を使って

保健室横の相談ルーム

会場を2会場に分けている。

①②どちらも

カウンセリングルーム

4つの会場に分けて実施（体育館、ミーティングルーム、保健室、メディアセンター）

第二相談室

会議室二部屋



保健室より広めの部屋

ランチルーム、特別教室（広いスペースや教室を利用）

保健室と別教室の2教室を利用

広いため会議室

第2会議室

家庭科室（被服室）

大会議室と特別教室

保健室と会議室（保健室以外の別室）

保健室に加えて、家庭室も使用しています。

保健室と会議室（密をさけるため、会場を分けて実施）

通常通りの別教室

昨年度までは、広い部屋を使用できたが、今年度はないため、仕方なく保健室にて実施

保健室、別室2カ所で実施

第2理科室

各教室、特別教室など

保健室と特別活動室の2カ所

生徒会室

地域連携室

各教室

保健室と、それ以外の部屋も使用し、人数を分けて行った。

保健室と学習室

保健室とは別な会場を用意し、人数を分けて実施

別館

特別教室（ランチルーム）



保健室と武道場

保健室他2教室、計3部屋で実施

会議室

保健室を発熱者用スペースと一般用とゾーニングしているため、検診を特別教室で行った。

保健室は女子、会議室は男子

体育館内会議室

ミーティングルーム（広いため）

多目的室（教室や保健室より広い）

調理室

広いスペースの特別教室

特別教室等、広い教室

会議室、進路指導室

広い教室（図工室）

特別教室等6教室に分かれて

特別教室や学習室等の広い教室

保健室と隣接している視聴覚室を利用

集会室

教育相談室

特別教室(美術室)

複数の特別教室

合同教室(校舎内の広い部屋)

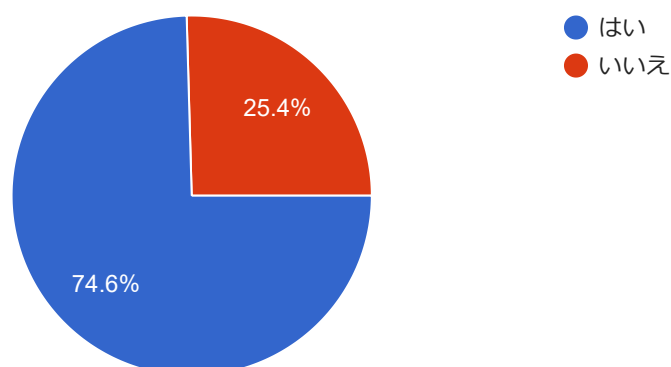
保健室と学習室の二部屋で男女別に実施しました。



(2) 通常時（コロナ前）と同様の健診項目が行えましたか？

 コピー

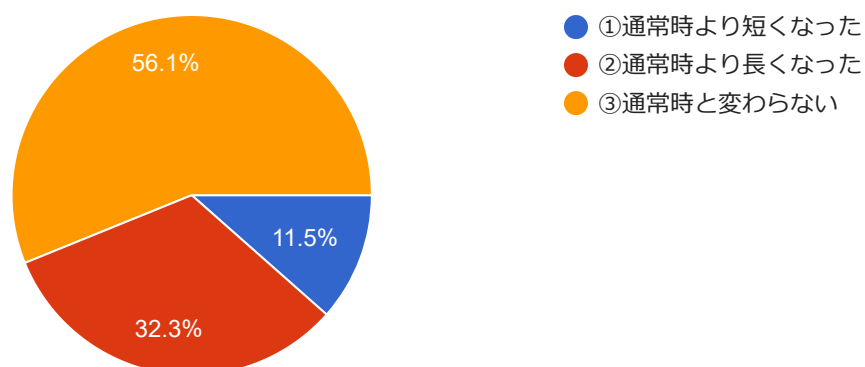
668 件の回答



(3) 通常時（コロナ前）と比べて健診にかかる時間や日数は変わりましたか？

 コピー

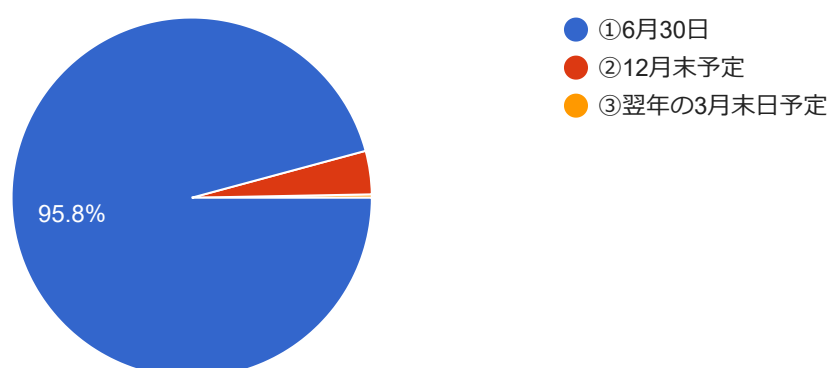
668 件の回答



(4-1) 今年（2022年）の内科の健康診断が終了した時期を教えてください

 コピー

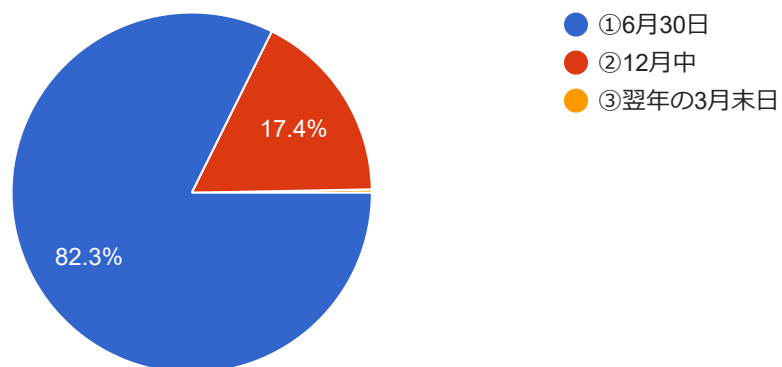
668 件の回答



(4-2) 昨年（2021年）の内科の健康診断が終了した時期を教えてください



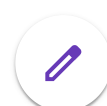
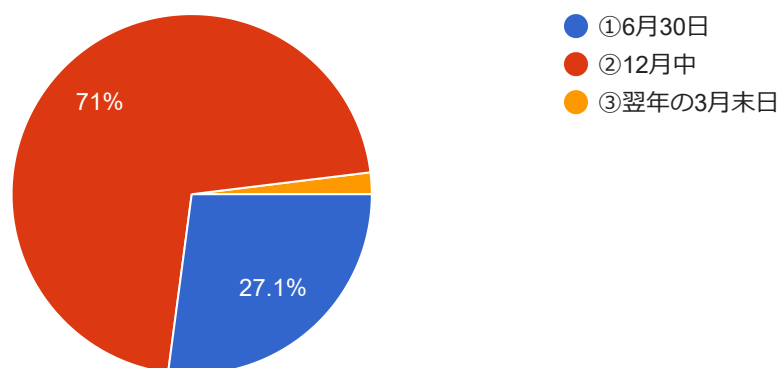
668 件の回答



(4-3) 一昨年（2020年）の内科の健康診断が終了した時期を教えてください



668 件の回答



(5) 内科健診について困った点や工夫した点を教えてください。特に、脊柱側弯症や聴診で困った点、工夫した点を教えてください（自由記載）

309 件の回答

特になし

なし

聴診器の消毒

本区では内科医が脊柱側弯検診を行うため、女子の更衣が問題になっている

あまり良く見なくなった

相談室・特別支援教室などの教室を使用

校医はマスクとフェイスシールド、生徒は顔の向きを校医と反対に向けさせる

検診待機している生徒が密にならない指導

アルコールの設置

スムーズに流れるように、掲示物を大目に作成した

密を防ぐこと防ぐこと

ソーシャルディスタンスをとるので進行が遅くなる

生徒の待機場所は密になってしまうため困った。

待機生徒の距離を離すように目印を床に貼った。

事前の調査票で、しゃがみこみの制限や身体の痛みなどの記載がある生徒のみをピックアップし、脊柱側弯症検査をする対象生徒を少なくした。

Tシャツや下着を着用のままで実施できたことは、むしろ良かった。

学校医が予防接種やコロナ診療のため、日程をなかなか組めなかった

広い教室での実施、アルコール消毒の準備

廊下及び保健室内で、待つ位置の印をつけ、間隔を取らせた。保健室の入り口にはアルコール消毒を置き、全員消毒させた。生徒の飛沫を少しでも防ぐため、学校医への挨拶等を省略した。アルコール消毒液を学校医の前に置き、生徒が変わるごとに消毒をしていたため、特に困ったことはありません。



マスク着用の為、口腔視診は無しとなった。コロナ対策で距離を保つため、移動等で時間を要した。

待機する場所を換気の良い廊下にした。

学校医と連絡を取り合い、感染状況を鑑みて実施しました。また換気、消毒は十分配慮しての実施となりました。

喉の視診なし、聴診器は1人1人消毒する

一人終了するごとに、聴診器を消毒用ガーゼで拭いた。医師は手袋を着用し、1人ずつ手指の消毒を行った。

学校医さんが病院でのコロナ対応や予防接種で多忙のため、日程調整が難しかった。

コロナ前は1日で全校健診を実施していたが、コロナご流行してから3日にわけて実施しているため、時間は短縮できるがその分日数が増えるため大変である。

全員マスク着用

聴診器を都度アルコールで拭き取る。

脊柱側弯症については、家庭における事前調査をもとに、必要な児童について検診していただいた。

診察毎の消毒。待機生徒の距離の確保。

コロナ前同様。

体操服着用のままでの聴診について医師によってご意見が異なる

脊柱側弯検査は検診前に保健室でスクリーニングして、チェックがついたものを校医にみてもらっている。

男子はスクリーンで隔てて、上半身裸になってもらった。

できる限り、児童にふれないよう実施。聴診器や手が触れた場合は都度手指消毒。学校医の意向により、感染状況がもう少し落ち着いてから今年度実施予定。

体育服を全部脱がないと、背骨の検査ができない理由が分からなかった

保健室内に入れる生徒の人数の制限（4名まで）とした。検診直前に保健室前の廊下で再度健康チェックを実施した。

着替えをせず体操服を着たまま待機し、検診時は自分で服を上げて検診を受けさせた

事前に調査票を配付し、検診を実施しているが、なかなか回収できない。高学年女子に関して、プライバシー保護が難しい。



咽頭はみない。一人ずつパテーションで区切る。一方通行。

待機中の間隔の確保

感染予防のため、口腔、咽頭、喉頭等の検査は行っていない

生徒の動き（前屈等）をイラストで示し、会話をしないように心がけた。

フェイスシールドや使い捨てエプロン・ゴム手袋を着用し、手指の消毒をゴム手の上から毎回実施。クラス半分でゴム手取り替え等。

マスク着用と密を避ける指導。

保健室内には生徒一人のみ入室、無言、聴診器の消毒等

動線の確保

児童の身体の間隔を多く取り、動線は一方通行にし、聴診器は細かく消毒を行っていただいた。感染者が多い時期の実施は、体育館を使用し、広いスペースで換気・密を避けて実施した。

ディスポーザブル手袋着用、聴診器を一人ひとり消毒

アルコール消毒を学校医が使用できるように設置した。

感染対策のため項目や内容を簡略化することで他の病気を見逃す可能性が高くなる。

前部分のシャツをめくる際に直接接触することへの配慮を要した

感染予防のため時間がかかる

密を避ける。そのために保健室以外の場所も使用した。

距離を取る 会場を分けて広く使う

全児童を上半身裸にさせなければならず、医師によって（学校）対応が違うことに困難さを感じている。全国の医師会で統一して欲しい。

喉の状態をていただくことはできなかった

できるだけ生徒に触れないように健診を行なってもらっていたので、側弯症の発見が遅れた可能性がある生徒がいた。

喉の確認にマスクを外して検診があり、コロナが心配でした。運動器は校医の先生が専門なのでよく診ていただいています

特にありません



聴診器を毎回アルコール消毒して、マスクしたままなので、口腔内は検査していない。

事前問診をとるので、スムーズに実施できている。

3密にならないよう、距離を保って行いました。

アルコール手指消毒を毎回する。マスクの着用。1メートル距離が取れるようにレイアウトの変更

一方通行で行った。

2020年は聴診器を一人ずつアルコール消毒し、運動器検診では児童に触れないように工夫したが、2021年からは通常通りに実施した。

換気を十分に行い、適宜消毒を行った。

学校医の要望に沿い感染者数が減った時期に実施した

学校医は一人ずつ手指消毒をしていたが、聴診器の消毒はその都度ではできなかった

咽頭をみることができなくなった。一人一人の健診に時間がかかる。

人数が多くプライバシーを守りながら素早く行うことが困難

一人検診を行うごとに聴診器をアルコール消毒した。

換気とプライバシー保護の両立が難しい。

マスクを外すよう校医から指示が出ているため、氏名の確認は記録者が氏名を伝え、合っているかジェスチャーで答えさせている。

前後の手指消毒を実施。健診時のみマスクを外す

生徒一人を診る度に校医、器具の消毒が必要だったので、事前の問診票でピックアップした生徒を保健室で個別に再問診を行って対象者を精選した

健診に限らず、人手不足

学校医と事前に打ち合わせを行い、間隔や検診方法について打合せを行った。

いつもは保健室だけで行っているが、保健室と隣接する相談室も使用した。

学校医が専門医ではないため、脊柱側弯症の診断がしにくい様子。

聴診器の消毒、ドクターのグローブ着用と手指消毒、室内への入室人数を減らす、待機場所でのソーシャルディスタンス



一人一人手袋を交換

校医先生のご意向を優先した。

特にないが検診受検前の健康観察の徹底

学校医は生徒に触れるため、自身の手指や聴診器のアルコール消毒を徹底した。

特にありません。

学校医はフェイスシールドを着用し、都度アルコール消毒をしながら実施した。聴診や脊柱側弯のチェックの際は養護教諭の補助が必要な場面があり、児童と接近せざるを得ない状況があった。

待っている生徒の間隔をあける

間隔をとって並ばせる マスクの着用

女子は脊柱側弯症を診る時に上半身裸でプライバシー保護のためスポーツタオルを首からかける。そのスポーツタオルは感染症対策のため生徒一人ひとりが持参した。

脱衣（Tシャツ1枚になる）の部屋が密にならないようにすると、間が空いてしまい、予定時間が狂うため、授業の先生からクレームがきた。医師はTシャツの上から聴診器を当ててくれた

上半身の着衣はない方が正確な健診につながると思うが、スムーズな進行やプライバシーの配慮等のため、シャツ1枚（ブラ着用OK）で健診を受けている。保健調査票や問診票を活用している。

コロナ以降、舌圧子を用いた喉の検査を省略している。感染リスクの低減やスムーズな健診にはつながるが、異常が見落とされないか心配だ。

聴診器の消毒を校医にお願いした

衣服の上から聴診している。間隔を広くとる。

特記事項なし

聴診の際には、15人ごとに聴診器を消毒していた。校医さんはフェイスシールドやガウンをつけて対策していた。

一人ひとり、聴診器のアルコール消毒

医師と対面にならないように座る

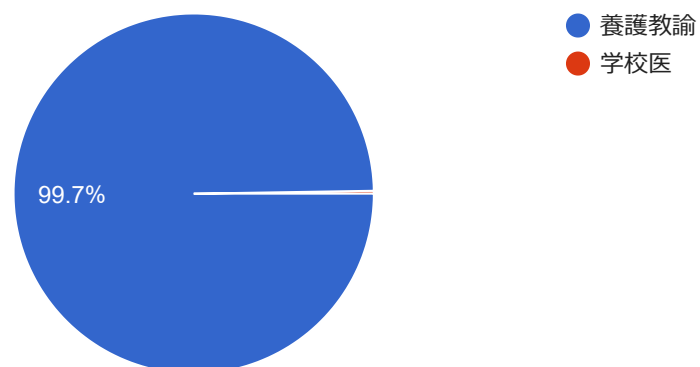
コロナと同時に着衣での内科検診を行うようになり、聴診器が直接肌に触れないように、下着や体操服の上からあてた。



↑「自由記載」回答者の種別を選択してください。

 コピー

389 件の回答

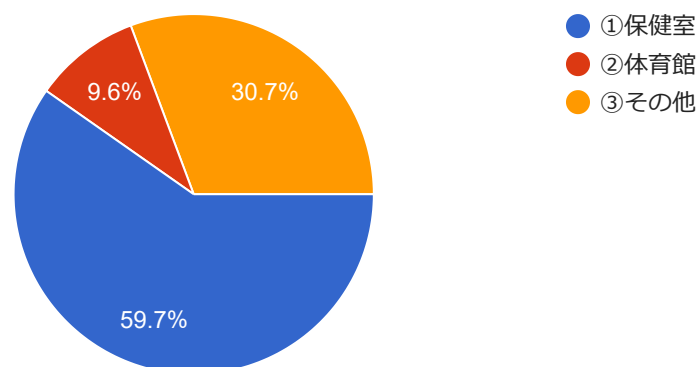


8. 生徒の【眼科】健康診断を実施する際の感染予防対策についてお聞きます

(1) 眼科健診はどこで行いましたか？

 コピー

668 件の回答



↑「その他」記載欄

205 件の回答

会議室

多目的室

特別教室

家庭科室

視聴覚室

理科室

図書室

実施していない

生活科室

広い特別教室

各教室

大会議室

多目的教室

図工室

多目的ホール

空き教室

ランチルーム

第2理科室

教室

未実施

武道場

ミーティングルーム



ホール

講堂

まだ実施できていない

地域交流室

各教室に学校医が行く

剣道場

被服室

広めの空間

総合創作室

眼科専門医による健診は行ってない。内科検診にて兼ねる

内科検診と兼ねる

特別教室（図書室）

2会場に分かれて行った。

多目的室（特別教室）

問診票での実施

学校医による眼科検診は実施していない

広めの特別教室

音楽室

エアコンのある少人数教室

健診バスで実施（毎年1年生のみが実施している）

中庭や児童生徒玄関

内科健診が兼ねている

相談ルーム



ペーパーで実施

第二相談室

会議室 二部屋

相談室

市が実施

大ホール

眼科検診なしです。

ない

ランチルーム、特別教室

眼科検診は感染予防のため未実施

家庭科室（被服室）

多目的教室・少人数教室

眼科健診なし

眼科専門医による眼科健診は実施していない

家庭室

眼科検診の実施はなし（内科検診に含む）

眼科の学校医がいないため、眼科検診は実施していない。

内科で実施

眼科健診実施なし

通常通りの別教室

測定室

もともとなし

眼科検診のみの検診は実施していない(内科検診と兼ねている)

眼科検診は内科検診と併せて実施している。



食堂

生徒会室

保健室と会議室2ヶ所

広い会場（会議室）を使用

特別学級（ランチルーム）

実施なし

少し広い多目的室

前述同様

眼科医による検診は、コロナ前より実施していない

プレールーム

体育館内会議室

毎年実施なし

調理室

調査票のみ

内科検診の際に、同時に実施。

眼科検診が内科検診中で行うため、眼科検診のみの検診はない。

内科に含む

広いスペースの特別教室

眼科検診は実施していない 視力検査のみ実施

特別教室等、広い教室

調査用紙による検診

ホール(広い部屋)

保健室と、隣接する視聴覚室



集会室

教育相談室

特別教室(美術室)

内科検診時に行く

合同教室(校舎内の広い部屋：新型コロナに関係なく例年使用していた)

各教室の前

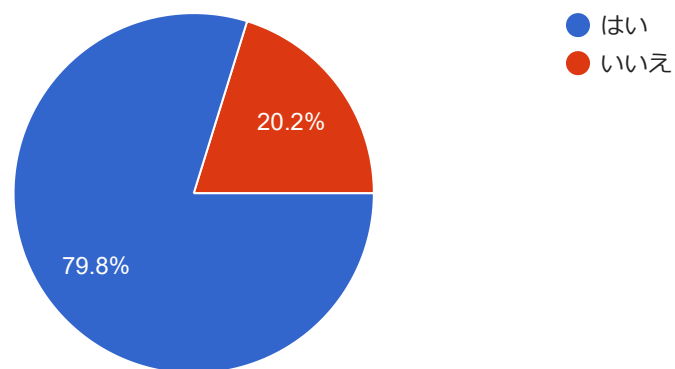
広い多目的室

健診は行っていない

(2) 通常時（コロナ前）と同様の健診項目が行えましたか？

 コピー

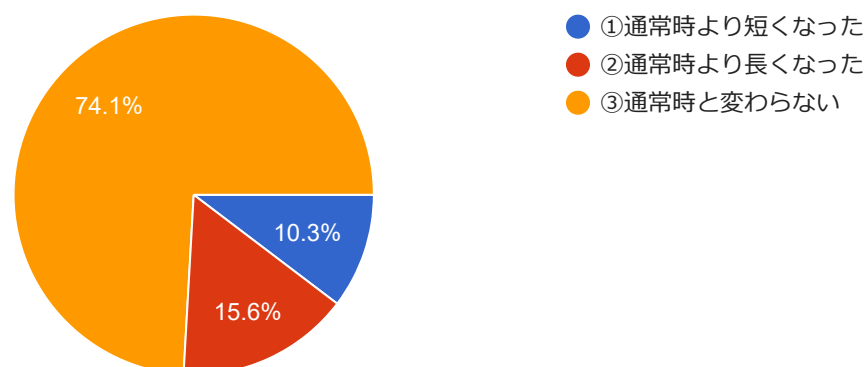
668 件の回答



(3) 通常時（コロナ前）と比べて健診にかかる時間や日数は変わりましたか？

 コピー

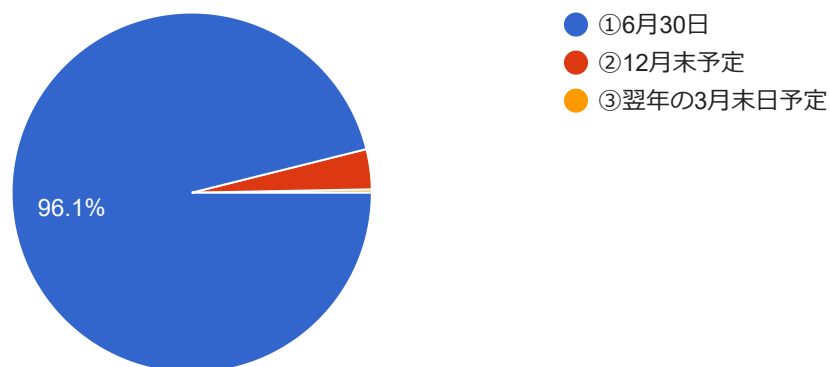
668 件の回答



(4-1) 今年（2022年）の眼科の健康診断が終了した時期を教えてください



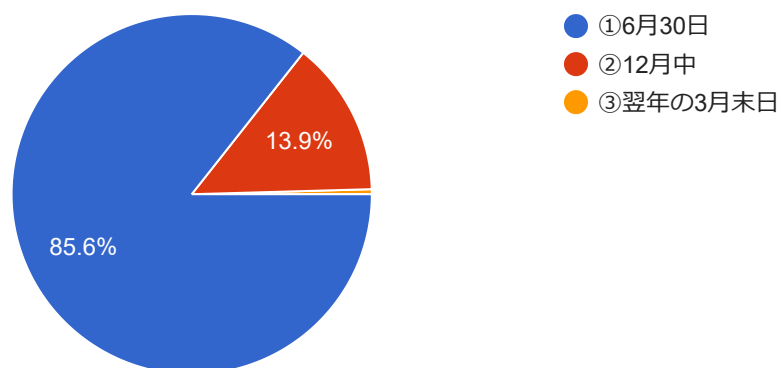
668 件の回答



(4-2) 昨年（2021年）の眼科の健康診断が終了した時期を教えてください



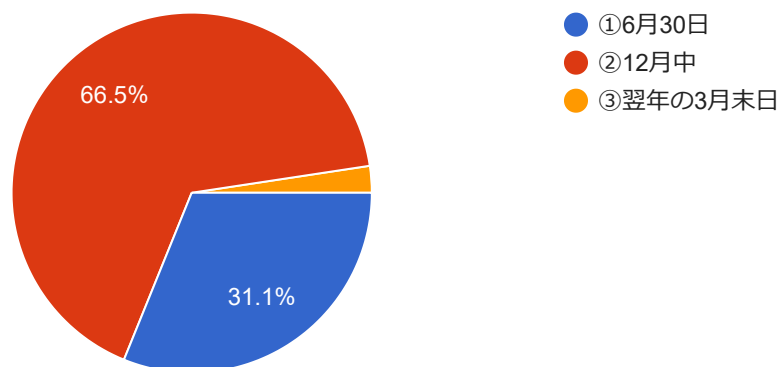
668 件の回答



(4-3) 一昨年（2020年）の眼科の健康診断が終了した時期を教えてください



668 件の回答



(5) 眼科健診について困った点や工夫した点を教えてください（自由記載）

240 件の回答

特になし

なし

内科検診と同様

特にありません

手袋、アルコールの用意

ソーシャルディスタンスをとるので進行が遅くなる

パーテーションを学校医と生徒の間に設置した。

児童自身で「あっかんべー」をするようにした。

生徒自身で、下眼瞼を下にひかせた

【工夫した点】広い会場で、一方通行で受診できるように計画の見直しをした（密集・密接の回避）。【困った点】検診項目が減り、眼位の検査のみだった。アレルギー性眼疾患の早期発見は、感染症対策としての検診項目ではできない。

廊下及び保健室内で、待つ位置の印をつけ、間隔を取らせた。保健室の入り口にはアルコール消毒を置き、全員消毒させた。生徒の飛沫を少しでも防ぐため、学校医への挨拶等を省略した。

ピタッとした使い捨て手袋を何度も交換するので、医師が大変そうでした。

学校医と連絡を取り合い、感染状況を鑑みて実施しました。また換気、消毒は十分配慮しての実施となりました。

健診時は、自分で眼の下を開けさせた。

コロナ前は、全員検診を受けていたが、コロナ後には問診票や視力の低い生徒を選んで受検するため、全校でなくなったこと

まぶたは、生徒自身に下げようとするため、正確な診断がしにくい様子だった

生徒自身で下まぶたを下げるようにした。

自分でまぶたを下げる（医者は触れない）ようにしたら、時間短縮できた。

生徒自身で下瞼を下げる。校医さんは生徒に触れない。



生徒が自分で下瞼を指で下げるようにして、眼科医が生徒に触れるのを避けた。

児童には触れずに実施。足形を床に貼り、距離を開けて実施。

学校医が瞼を触って検診を実施するのではなく、本人に瞼を下げさせて検診を受けた(アッカンベーの様な形)。

流行性の疾患予防のため、児童一人一人が自分で眼の下を引き下げて実施するため時間がかかる。

待機中の間隔の確保

事前指導を行い、話をしないように指導

保健室には一人のみ入室、無言、校医は生徒に触れない等

遮眼子は一人1つ使用して行った。

児童に触れないようにして診察していた。

一人の検診ごとに手や指の消毒を行った。

時間がかかる

2020年は教室の前に並び、医師が移動してもらった。

内科の先生に診ていただいているが、実施できなかった

生徒自ら下瞼をさげる

会場に入室前に必ず手指消毒をする

児童が自分の手で、目をさげて見てもらった。

アルコール手指消毒の徹底。マスク着用。顔に触らないように、生徒自身でまぶたを下げさせる。

一方通行で行った。

児童が自分で下眼瞼を下げるようにした。

生徒自身が瞼を触り、眼科医の指示通りに動かし、眼瞼を診てもらう。

生徒が自分で下瞼を下げるようにした

密にならないよう、広い部屋で実施している。



自分で目を開けさせた

児童が自分で自身の下瞼を引っ張り、学校医が児童に触れなくて良いようにした。

眼下を生徒自身で指で下ろすようにした。

Dr.がアルコールで手指消毒をしながら実施、時間をとってゆっくり検査しました。

校医さんが、児童に触らず、自分でまぶたを下げる方式になった。

室内入室人数の制限、待機場所でのソーシャルディスタンス

対象者を抽出して行った

校医先生のご意向で、中庭等屋外で行ったので、児童生徒が不慣れだったこと。

学校医は、生徒に触れないようにペンライトを活用して生徒の目の動きを見たり、生徒自身に「あっかんべー」のような動作をさせ目の粘膜を見た。

これまでは、耳鼻科と同時に行っていたが、実施日を分けて行うようにした。

待っている生徒の間隔をあける

間隔をとって並ばせる マスクの着用

眼の周囲を診察する時は、生徒本人が下瞼を下に下げようとしている。

自分で下まぶたを下げてもらった

医師は生徒の目は触らない、生徒本人がまぶたを下げ診てもらう

医師は基本、児童に触れない。触れたら消毒をする。

瞼を下げるのを各自で行った

特記事項なし

とくになし

内科検診と同じ

眼科検診は学校では実施せず、ペーパーで回答してもらい、対象者に受診を促す形をとっている。

保健室から広さがある理科室に替えた。待つときに距離を取る足型を貼って、検診を受けさせた。



三密の回避

介助者をフェイスシールド、マスク、手袋で対応

学校医は児童に触らず、自分で眼下を下げるようにした。

室内外の人数制限

下瞼は、児童に下げるよう指示し、学校医が児童に触れずに検診をした。また、場所を体育館にしできるだけ広いスペースで行うようにした。

マスクを着用したまま、生徒が自分で瞼を下げて診てもらう。

眼瞼結膜を確認するため、生徒にあっかんべーをさせた。

眼科医の指示ではあるが、手指消毒（オートディスペンサー）と手袋、マスクを準備している。記録者は呼名をせず、体操服の大きな名札で名前を確認している。

対象学年が減ったが、間隔をあけるため広い場所が必要。

一人一人手指消毒実施。

足型を準備して補助教員を医師の近くに配置した。

医師が教室を巡回してくださり、集まる必要がなかった

・距離をとって整列させる。・会場入退場時の手指消毒の実施。・学校医は生徒に触れず、生徒自身で目を開けさせていた。

マスクの着用、ソーシャルディスタンス、手指衛生、換気、三密回避、自分でまぶたを下げるようにした

保健室入室前、検温消毒の徹底

広い部屋で間隔をあけて実施、眼科医の手指消毒の撤退

アレルギー既往の児童以外は、自分で目をあっかんべーの状態にして、眼科医は児童に触れないようにされていました。

一人ごとにアルコール手指消毒を行いながら実施した。密にならないように動線を示し、立ち位置に足形を貼った。

学校医の依頼により、瞼を生徒が自分で下げて検査を行った。

内科検診の中に眼科検診が含まれているため例年と変わりありません

3年連続未実施（上記が必須項目だったため、6/30を選択しているが未実施である。）



密を避けるために立ち位置にテープを貼り間隔をあけた

受診者の間隔を十分にあげるよう、事前指導や表示の工夫

学校医の指導のもと、自分でまぶたを下げて、学校医が生徒に触れることなしに検診できるようにした。

医師が顔をさわらないように自分で顔の上げ下げをさせた。低学年は難しくてできない子もいた。

換気と人数制限

時間がかかるが仕方がなかった

広い会場で実施した。自分で下顔を下げ検診を行った。

距離をとって整列し待機させた。

密を避けるため、部屋をわけた

マスク着用のまま行った。

健診会場に入室する人数を制限した。

広い場所を確保し実施した

生徒が自ら下まぶたを下げるよしした。学校医は、クラスが替わる毎に手指消毒をした。密を避け、かつ、スムーズに進むよう、職員間で連携を図った。

眼の下を触れないので、充血や貧血等は保険調査票で気になることとして記載のあった生徒のみ実施となった。

校医は、直接眼に触れていない。

眼科健診は実施していないため、内科健診の終了時期を回答しています

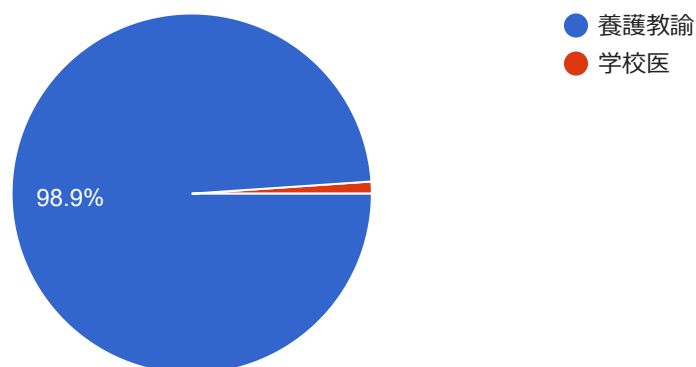
他 125 件の回答が非表示になっています



↑「自由記載」回答者の種別を選択してください。

 コピー

372 件の回答

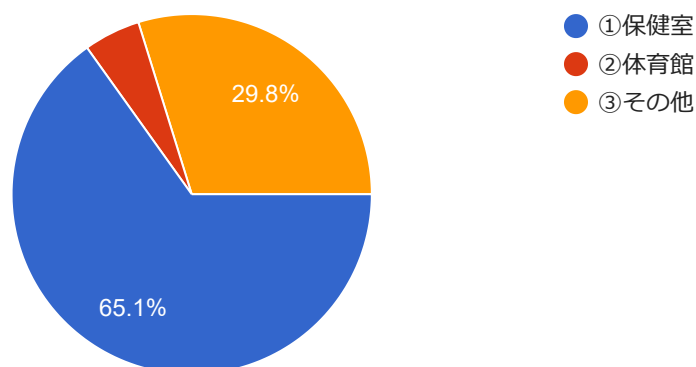


9. 生徒の【耳鼻科】健康診断を実施する際の感染予防対策についてお聞きます

(1) 耳鼻科健診はどこで行いましたか？

 コピー

668 件の回答



↑「その他」記載欄

196 件の回答

会議室

多目的室

特別教室

図書室

視聴覚室

図工室

家庭科室

多目的ホール

広い特別教室

ランチルーム

理科室

未実施

大会議室

ミーティングルーム

問診のみ

多目的教室

ホール

実施していない

講堂

生活科室

視聴覚

第2理科室



ランチルーム、理科室

まだ実施できていない

地域交流室

保健室よりも広い特別教室

学習ルーム

剣道場

広めの教室

医療機関で問診票を選別

総合創作室

食堂

内科検診と兼ねる

保健室、理科室

行っていない

保健室と特別教室

特別教室（図書室）

3会場に分かれて行った。

多目的室（特別教室）

耳鼻科医による検診を実施していない

広めの特別教室

音楽室

エアコンのある、少人数教室

耳鼻科健診を独立して実施していない。内科検診に含まれている。

中央学習室 広いスペース



内科健診が兼ねている

ランチルーム（2教室分の広さ）

耳鼻科検診を実施していない

ペーパーで実施。

第二相談室

会議室 二部屋

相談室

市が実施

大ホール

希望者のみ病院で受けますので、学校でしていません。

なし

今年度から校医による検診はなくなり問診調査のみ

ランチルーム、特別教室

感染対策のため未実施

家庭科室（被服室）

小会議室

耳鼻科検診なし

問診票による精密検査対象者選出

家庭室

実施なし（内科検診に含む）

耳鼻科の学校医がいないため、耳鼻科健診は実施していない。

中学校では行っていない。

内科で実施

通常通りの別教室



測定室

もともとなし

耳鼻科検診も内科検診と併せて実施している。

多目的ルーム

生徒会室

地域連携室

保健室、体育館

特別教室（ランチルーム）

前述同様

健診を依頼している医療機関から、実施できないとの連絡があったため、3年間行っていない。

プレールーム

体育館会議室

調査票のみ

内科検診の際に、同時に実施。

美術室（保健室より広く間隔がとれるため）

内科検診の中で耳鼻科検診を行う。耳鼻科検診だけの検診はない。

広いスペースの特別教室

特別教室等、広い教室

調査用紙による検診

ホール(広い部屋)

空き教室

集会室

内科検診時



地域性により毎年実施できていない。

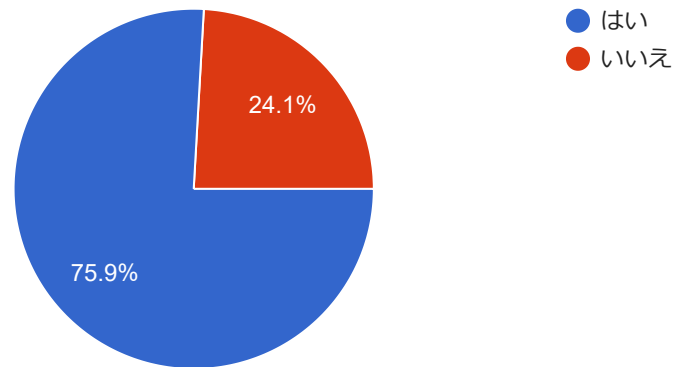
広い多目的室

健診は行っていない

(2) 通常時（コロナ前）と同様の健診項目が行えましたか？

 コピー

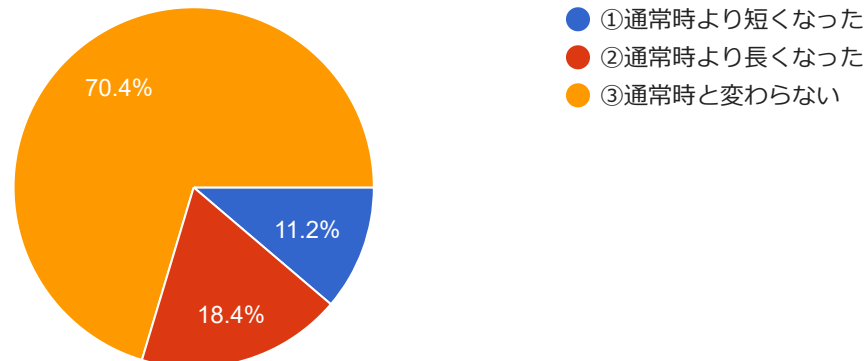
668 件の回答



(3) 通常時（コロナ前）と比べて健診にかかる時間や日数は変わりましたか？

 コピー

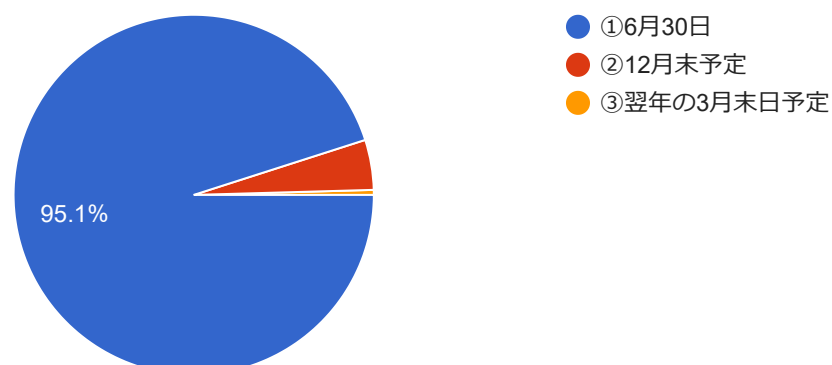
668 件の回答



(4-1) 今年（2022年）の耳鼻科の健康診断が終了した時期を教えてください

 コピー

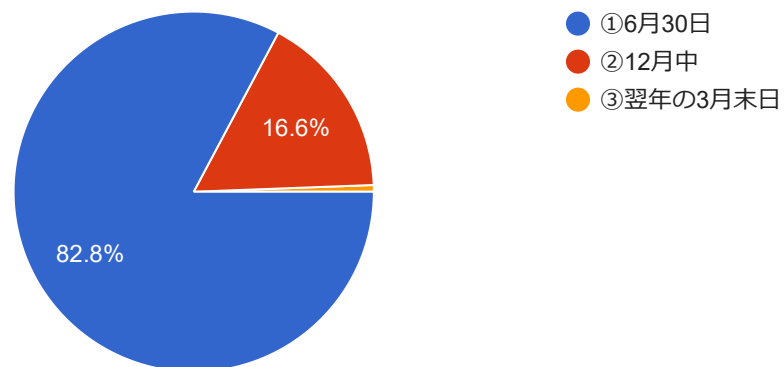
668 件の回答



(4-2) 昨年（2021年）の耳鼻科の健康診断が終了した時期を教えてください



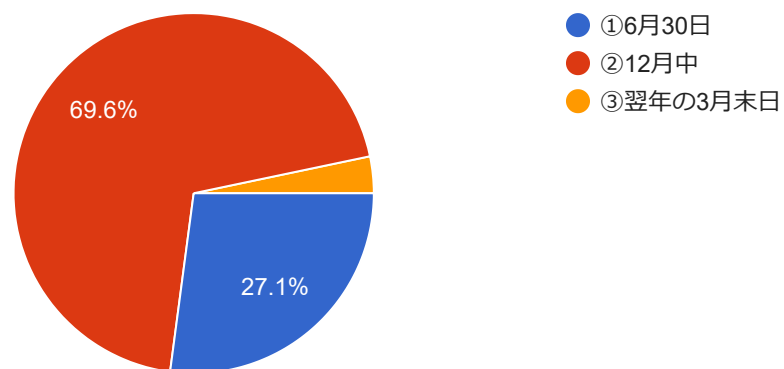
668 件の回答



(4-3) 一昨年（2020年）の耳鼻科の健康診断が終了した時期を教えてください



668 件の回答



(5) 耳鼻科健診について困った点や工夫した点を教えてください（自由記載）

247 件の回答

特になし

なし

自治体がリース器具の水洗いをなくしてくれて助かった

2年生のみの健診だったが、密にならないようにした

アルコール、手袋の用意

咽頭の検査をできなかった。

ソーシャルディスタンスをとるので進行が遅くなる

マスクを外すことを避けるため、喉を診ることはやめた。

マスクの取り外しについて、学校医が器具等を使い行っていた。

検診は、耳鼻科医がフェイスシールド・マスク・ガウンを着用して実施したが、暑さや湿気でフェイスシールドが曇った。前が見えないと、耳鼻科医が困惑した様子だった。（普段は着用していない）

使用する検診器具の衛生が憂慮されたため、ディスポタイプのものに変更

使用済みの検査器具の洗浄、消毒にとっても気を使った。

検診後の器具の取り扱いに悩みました。

廊下及び保健室内で、待つ位置の印をつけ、間隔を取らせた。保健室の入り口にはアルコール消毒を置き、全員消毒させた。生徒の飛沫を少しでも防ぐため、学校医への挨拶等を省略した。

一人一人の検診の前に、校医がアルコールで手指消毒をするので、事前にアルコールアレルギーがないか確認する必要があった。

学校医と連絡を取り合い、感染状況を鑑みて実施しました。また換気、消毒は十分配慮しての実施となりました。

なるべく短時間で終われるよう、校医さんの希望で1年生のみ実施。

コロナ前は全校生徒が検診を受けていたが、コロナ後は生徒を問診から抽出するため全員でなくなったこと



マスクは直前で鼻だけ外す指導を行った

換気 密をさけること。

問診票の活用。昨年度・一昨年度はのどの診察はしなかった。

使い捨て手袋を使用し、個人ごとにアルコール消毒をした

児童には触れずに実施。学校医は、手袋をした上で、児童ごとに、手指のアルコール消毒。足形を床に貼り、距離を開けて実施。

入室人数の制限。マスクはぎりぎりまで外さない。

自分で検診の順序に沿って顔を向けさせた。

咽頭検診は省略

1・3・5年のみ実施。水泳学習前に終わらない。

咽頭はみない。一人ずつ保健室へ入る。一方通行。

待機中の間隔の確保

診察場所を2か所にして（パーテーションで区切る）医師が移動して健診を行うことで時間短縮をはかった

校医が防護服着用、フェイスシールド、マスク着用、手袋着用、室内に生徒一人のみ入室等

耳鏡や鼻鏡は健診対象児童数を準備し、検診しながら消毒し、繰り返し使用することを避けた。

診察の直前でマスクを外す。

リングで間隔をあけて並ばせる

時間がかかる

換気 学校医の助言により、生徒は頭覆いを巻く（介助者が頭を触るため、皮脂分泌が活発な生徒が感染していると危ないとのこと）

耳鏡も1人1つ使用にしてもらった。（コロナ前は、洗浄しながら使い回していた）

耳鼻科も内科の先生に診ていただいているが、喉は実施できなかった

検診当日に一年生が感染症発生で早下校となり、一年生は改めて別の日になった。場所も保健室は感染者が使っていたので急遽特別教室教室に変更した。



会場に入室前に手指の消毒をする

一人分の耳鏡、鼻鏡、使い捨て舌圧子をバットに取り分けて実施した

マスクを外すタイミングについて

症状有り抽出児童の健診を行うことができなくなり、未受診とる児童の増加。

アルコール手指消毒、マスク着用。

一方通行で行った。

2020年は耳しか診ていただけなかったが、2021年からは通常通りの検診をしていただけた。

保健調査票で耳鼻科疾患を聞き取るのみで耳鼻科医の検診はしていない

マスクを外すタイミング。静かに待つこと、会場では密を避けることを指導していたが、人数が多くなってしまったタイミングがあった。スムーズな進行のためには早めにマスクを外させたいが、指示をためらう場面があった

生徒が密にならないように保健室に入る人数を制限し、動線が重ならないように配慮した。

学校医から、事前に感染状況の確認の連絡があった。

鼻を診るときにだけ、マスクをずらし、飛沫対策を行っている。

喉の検診はなく、耳と鼻のみ。口腔はマスクをしたまま。

職員みんな「本当に診てくれてるのかな？」と心配になる程、時間をかけない、接触しない検診だった

耳鏡、鼻鏡は人数分用意して実施。全て学校で消毒しました

コロナ対策のため、3年間のどの健診を行ってもらえていない。

室内入室人数の制限、待機場所でのソーシャルディスタンス、ドクターのガウンとフェイスシールドとグローブ着用(随時交換)、室内補助と記録者のガウン着用。グローブは一人一人交換のため非常に時間がかかった。準備も大変。

対象者を抽出、舌圧子を」使用しない（咽頭疾患の有無は健診しない）

これまでは、眼科と同時に行っていたが、実施日を分けて行うようにした。

医師はフェイスシールド着用の上、都度アルコール消毒を行いながら実施した。

待っている生徒の間隔をあける



間隔をとって並ばせる マスクの着用

健診の直前までマスクを外さないようにする。マスクを外したら話さない。待機の列は一人ひとり間隔をゆとりをもつ。

昨年市教委から検診を延期するよう指示があったが、学校医の病院がいくつかの学校の学校医をしているため、病院営業の問題で日程を変えられないと言われもめごとになった

マスクを外しての健診なので、会話をしない、換気、使用後の器具の扱いなどに気を付けた。

健診直前までマスクを外さない。

咽喉の健診を行わなかった

器械だしの看護師が来なかったので養護教諭が行い、記録と同時で煩雑になった。

以前は耳垢を取ってくださっていたが、時間短縮のため、できなくなった。

のどはみないということで、喉の疾患が心配

内科検診と同様

内科検診と同じ

児童ごとにゴム手袋を付け替えて健診を行っていたため、そのことに時間がかかったことに困った。

舌圧子と鼻鏡の仕わけ（Dr.が一緒に入れるので）

眼科検診と同様、ペーパーで回答してもらい、対象者に受診を促す形をとっている

舌圧子や耳鏡・鼻鏡の使用は、症状のある生徒や見えにくい生徒のみにした。

学校医の意向で、学校医の後ろから扇風機でかぜを送るよう言われた。

耳鼻科器具を使用済みのものを水洗いして業者に出すまでの衛生管理に不安がある

コロナ禍になり、耳だけの検診になったが、保健調査票に鼻や咽頭の記載がある場合は鼻や咽頭もみている。

室内外の人数制限

検診器具を人数分用意し、使い回ししないようにした。

鼻、口腔内はやっていない

並ぶ際は間隔をあけ、マスクは直前に生徒自身で下ろす。



喉を見るのは、マスクをとることになるため、自覚症状がある場合のみ検診を行った。

マスクは健診の直前に外させている。

他の検診同様、足型準備。補助教員を配置。

・距離をとっての整列。・会場入退場時の手指消毒の実施。

鼻と口を診せる時なみあごマスクにしたが、他の場面では着用していた。ソーシャルディスタンス、手指衛生、換気、三密回避

コロナ流行一年目から、鼻も喉もみていない。初めは市全体でそうするという決まり事であったが、2年目からは、その耳鼻科校医の裁量ということで、他校の校医は昨年くらいから喉や鼻もみていただいているのに、うちはあいかわらず、耳のみ診て、喉と鼻は問診される。気になるなら耳鼻科に行きなさいと締めくくられるが、あなたが耳鼻科の先生ですよ。と言いたくなる。

保健室入室前、検温消毒の徹底

耳のみの健診だった。鼻や喉はみられなかった。市医師会での共通理解で、市内の小中学校耳鼻科検診では原則耳のみの検診ということで統一されていた。（コロナ対策のため2020年度から）

広い部屋で実施、喉は診ない

介助や器具消毒など、消毒作業にいつもより時間がかかりました

一人ごとに手袋を交換し、手袋の上からアルコール消毒を行った。また、密にならないように動線を示し、立ち位置に足形を貼った。

ソーシャルディスタンスで実施し検査会場には5名までとした。

3年連続で未実施（選択必須だったため、上記選択しているが、未実施である）

密にならないように立ち位置にテープを貼り間隔をあけた

受診者の間隔を十分にあけるため、事前指導や表示の工夫

会場には一人のみ入り、記録が必要な場合は、健康カードではなく別紙に行った。

耳鼻科医のみフェイスシールド。舌圧子は使い捨てに変更した。その他の器具は市教委が人数分準備。医師が変わったため時間は短縮。

換気と人数制限

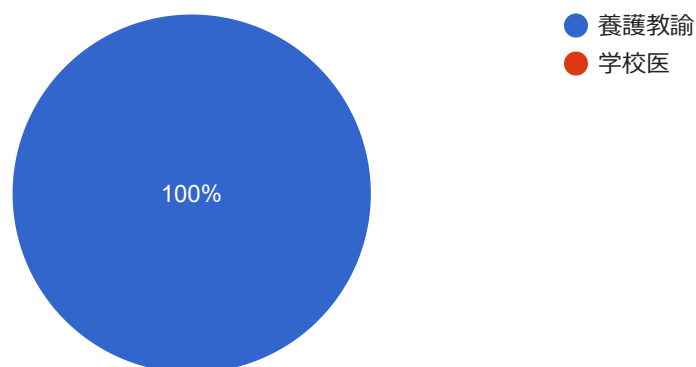
他 137 件の回答が非表示になっています



↑「自由記載」回答者の種別を選択してください。

コピー

371 件の回答

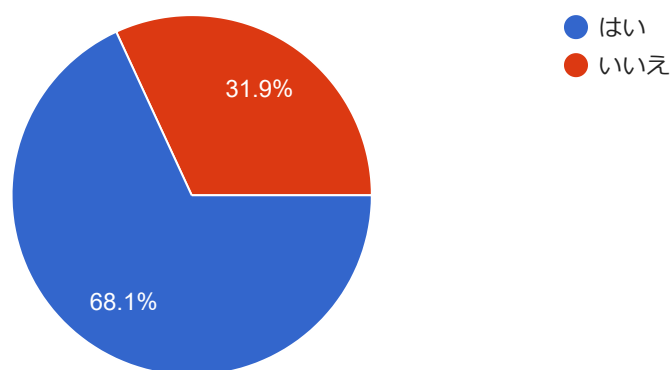


10. 新型コロナウイルス感染症対策に関する健康教育についてお聞きます

(1) 貴校で新型コロナウイルス感染症について、教育を実施していますか？

コピー

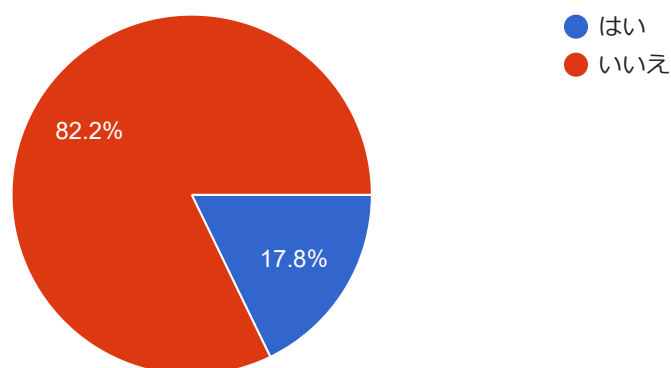
668 件の回答



(2) 東京都医師会が作成した「健康教育用スライド」や「感染症予防対策の動画」が、ホームページから配信されていることはご存知ですか？

コピー

668 件の回答



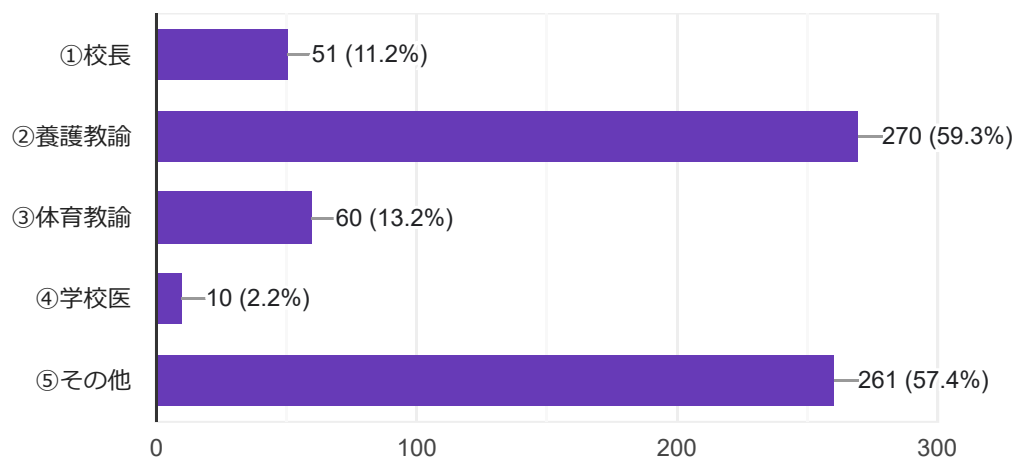
新型コロナウイルス感染症対策に関する健康教育を実施していると回答した方へ



(3) 授業は誰が行いましたか？（複数回答可）



455 件の回答



↑「その他」記載欄

257 件の回答

担任

学級担任

各担任

教諭

教員

担任教諭

学校薬剤師

保健主事

教頭

全職員

生徒の委員会活動（指導は養護教諭）

授業としては実施していない。

担任、学校だより

学校薬剤師、担任

保健指導は様々な場面で実施しているが、授業という形では行っていない。

短時間の保健指導を行った

生徒指導主任

各クラスの担任

各学級担任

養護教諭は、授業ではなく、始業式・終業式などで感染症対策について全校へ話している。体育教諭は、保健体育の授業で関連内容の際指導している。

全校集会の時に指導した



担任や生徒指導

各学年担任

資料作成養護教諭 実施担任

学校保健委員会、全校集会で生徒会が発表

5年担任

道徳授業において担任が実施。

各担任教諭

大学病院薬剤師

教務主任

担任教師

生徒とともに保健委員会で指導

各学年の職員

学校保健安全部（分掌）

担任による短学活での指導

保健主事、担任

担任、養護教諭学校全体

生徒指導主事、保健主事

保健指導として

養護教諭で動画作成し、学級で視聴させた。

保健委員

1時間の授業ではないが、教員と生徒保健委員会で作成した予防啓発動画を視聴した

児童委員会

保健主事が学校保健委員会で扱った

委員会活動



生徒保健委員

生徒指導

養護教諭による保健指導

外部講師

学級担任、人権教育推進教員

授業ではなく集会の放送

養護教諭が作成した資料を使い担任が実施

学校全体で取り組んでいる

教諭（担任または副担任）

全教職員で日々行っている。

生徒保健委員、人権教育担当者

朝会、クラスでの保健指導、担任から人権的な指導を行なった。

クラス担任

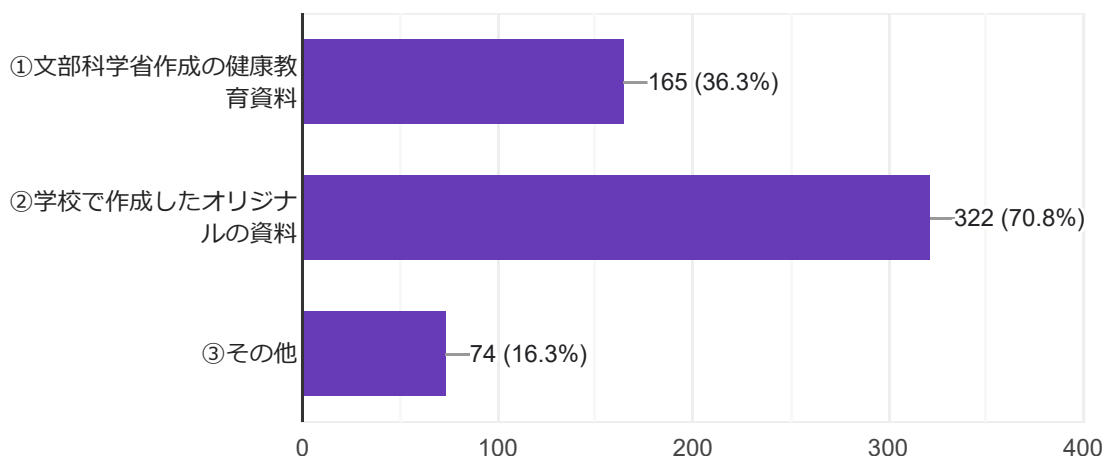
学級担任や生徒保健委員会

授業ではなく、担任は朝の会や学活等で保健指導を行い、養護教諭は全校集会で保健指導を行った。

（4）教材は何を使いましたか？（複数回答可）

 コピー

455 件の回答



↑「その他」記載欄

55 件の回答

教科書

花王の手洗い教材

保健だよりでの指導

株式会社アローズの資料

赤十字が作成した動画

人権教育資料

藤田医科大学が提供している資料。

偏見やいじめにあたるような事例

養護主任会で作成した資料

差別・偏見をなくそうプロジェクト

香川県教育委員会が全県の学校に配布したパワポ作成したパワポ資料

日赤

インターネットで配信されている教材、書籍からの引用等

赤十字の資料

ビオレあわあわ手あらいの歌

県からのコロナ関連資料

子どもによる調べ学習

企業から提供された教材

担任が必要に応じて作成した資料

保健だより

自作の教材

文科等を参考に独自で作成した資料



新型コロナウイルス3つの顔（日赤）

大学病院で作成した資料

日赤の人権教育の資料

県教育委員会の啓発資料

日本赤十字社作成動画

日赤の動画

学校だよりや校内放送

口頭で実施

日本赤十字社作成の資料

県教委リーフレット 等

市で作成した動画

各方面から配布された資料

特に使用していない

花王の手洗いの資料

東山書房から出ている資料等

口頭での説明

日赤作成の資料

薬剤師の作成した資料

川崎市教育委員会作成資料

手洗いの動画

学校で作成したプリントを使用」

授業という形ではなく、全校集会(リモート)や委員会活動など

集会やホームルームでコロナについて取り上げる



長野県が作成した資料、動画

日本赤十字者の資料

厚生労働省等の資料を参考にして作成している。

各自

NHKの資料

市養護教諭部会で作成した資料

県教委作成の「感染症予防に関する指導資料・教材」

県が発行した人権に関する資料、赤十字社が作成した人権に関する資料

自由意見



10. 学校において今後、新たな感染症発生に備え、どのような対策が必要と考えますか？（自由記載）

341 件の回答

基本的な感染症対策の徹底

基本的な感染対策が必要(石鹸での手洗いなど)

・速やかに対応できるように常にマスクやアクリル板、非接触体温計（精度がいいもの）などの備蓄・リモート授業ができるようにタブレットなどの精度を上げておく・学校ではないが政府など専門機関からの正確な情報の発出と教育委員会の速やかな指示（金曜午後に翌週の指示が出るなどして本当に大変だった）

予算確保

手洗いうがい、消毒の徹底、咳エチケットやマスク着用、情報共有

風邪症状や発熱（家族も）があったら登校しないよう常に指導する。

アルコールの備蓄、子どもたちへ予防方法の啓発

一人一人が感染予防の意識を再度高く持ち直せるような指導

感染が拡大しても教育活動が止まらないようにするICTの充実

インフルエンザ

部活動の在り方を
考えるべきだと思います。

引き続き、手洗い、マスク着用に徹底

日頃から手洗いや換気等の徹底

衛生用品は必ず必要になってくると思います。必要物品を揃え、感染症の正しい知識を全職員で共通理解をはかり、生徒に伝えることができるようにしたと考えます。

- ①日々変化・改訂される感染状況や感染症ガイドラインに基づき、出席停止期間や自宅待機の推奨など、保護者への情報提供と協力を依頼する体制を整えること。
- ②感染症の校内感染を最小に抑えられるよう、日常の健康観察を強化すること。
- ③自宅からのオンライン授業を受けられる環境を整え、対応できるようにしておくこと。

心の面への影響を考えた教育

完全リモート授業が必要

教室内の人数を減らし、机間を広くしたいが物理的にできない



基本的な感染予防の徹底

密になる環境を作らないようにし、換気を定期的に行う。手洗い・うがいは習慣にする。普段から健康観察をこまめに行い、有症者を出来るだけ早く集団の場から離す体制を整える。

感染症に対する知識をもたせる。学校環境衛生の向上。

新しい情報を収集すること。

対応する能力

人員の配置

保健室とは別の隔離、待機のための場所の確保

予防意識を保つための継続的な指導、感染についての正しい知識、差別のない振る舞いについての継続的な指導。教師の意識変革。指導が十分にできるための柔軟な教育課程の編成。学校の環境整備。

免疫力を高めるために生活習慣の確立や手洗い等の感染予防対策に加え、ICT教育の更なる工夫が必要だと思う。

保護者、職員などの緊急連絡体制の確立

普段からの健康教育の実施（新型コロナ、その他の感染症についての基本的知識を含めて）

学校でできる日常のことを徹底（三密回避、マスク着用、換気、手指消毒等）

校内感染が起こるようならすぐに閉鎖をすべきだと考える。

陽性者、濃厚接触者、体調不良の指針を遵守し、校内にウィルスを持ち込ませないように徹底することが必要

オンライン授業の確立。本県はほとんど進んでいない印象。

体調不良時に、安心して自宅で休養できること。

これ以上はできない。

基本的な感染症対策は変わらないはずなので、日ごろから規則正しい生活を送る、手洗いうがい、正しく感染症を知ることなどを続けていく。

今後も基本的な感染症予防を徹底していくことが重要で、個人の免疫力を高めるような生活習慣に努める保健指導が必要。

学校でクラスターを発生させないために換気、手洗い、マスク着用など、基本的な感染対策の徹底。



感染対策のための消毒薬などの備蓄

日ごろからの、危機意識

求められる対策が日々変化していくので、情報をしっかり得てその時々に合わせて対応を行う。行事が通常に近い形で行われていくので行事ごとに柔軟に対応していく。

予防対策の継続とともに、ガイドライン、マニュアルの改定ペースが早いので、教職員への共通理解や保護者への周知を迅速に行うことで、不安要素を少なくしていきたい。

どのような感染症に対しても、三密回避、手洗い・うがい、換気、マスク着用の実施。

手洗い。

消毒液や検温自動検知機の設置

すぐに検査できる体制(早期発見)

体調不良時には欠席させること(万延防止)

感染拡大防止のために、学校でおこなうべきことを具体的に早期に知らせてほしい。自治体や学校によって対応がばらばらなことが多く、正解がわからないこともありとまどうことが多かった。

生徒や教職員が、感染症予防についての知識を生活の中で活かし、それぞれが予防行動を行っていくことが大切。

基本的な感染症予防対策の継続、消毒用アルコール・手洗い用せっけん等物品の確保

隔離する場所の確保

これまでの感染症対策を緩めることなく、継続して実施すること。保護者や児童にも感染予防を啓発し続けること。

感染者を隔離する部屋の確保と、感染対策物品の準備

新たな感染症における出席停止等の基準の設定

個々で対策できることはしっかりと行う。学校で必要な感染対策グッズは、状況を踏まえて新製品を購入する。感染リスクを抑えることが出来るグッズなど。また、PTA活動に校内の消毒作業の協力をお願いする。

現在行っている感染症対策を一部継続する。三密回避、マスク着用、手や教室の消毒

制限を減らし、元の生活に戻すための対策

感染のためお休みする基準

感染防止のための法律



手洗い うがい 運動 生活習慣の改善

一人一人が感染症に対する知識を持ち、正しく理解するように伝える。

新型コロナウイルス感染症対策の徹底は、新たな感染症にも適用できる。

予算を増やしてもらわないと、消毒液等の必要物品が全く買えなくて困っている。

児童生徒を一時待機させておく場所がないため、施設設備の充実が必要

体調不良者が待機できる部屋の確保、防護服など、

教室が狭く、そこに単学級なので全員座って授業を受けるので密にならないでと言われても無理な話である。また、エアコンをかけていても換気を一斉にすると電気代もかかり、予防のためにはしたいこともできない時がある。環境を整えるためにはまず予算が必要です。

コロナ禍と同じ感染対策

対応する職員は組織で動くこと。

新たな感染症は出てほしく無いが、オンラインによる授業のソフト開発や、マスクでの表情がわからないためのコミュニケーション力を補えるような何かが必要。

手洗いの習慣化と規則正しい生活の徹底

手洗いの徹底、生活リズムを整え、体力をつける、換気の徹底、自己検温などの管理能力向上

正しい知識と対応の徹底。

感染対策に必要な物品を備蓄しておくこと。

感染症に対する正しい知識を持つこと、正しく恐れることの大切さについて普段から指導をしておく。

通常の対策を取りながら新感染症の正しい知識を早く得て予防行動をとれるようにする

手洗い、換気などの基本的な感染対策。食事、睡眠などの基本的生活習慣の徹底。

基本的な感染症対策の徹底。その対策が十分にできるように日頃からの指導や家庭との連携。

オンライン授業などの整備

対応業務の分散化、保護者メール作成ソフトの更新

感染症予防の基本は手洗い等の手指衛生だと思う。どの学校も冬季でも丁寧な手洗いが実施できるよう今後はすべての蛇口からお湯が出るように改善していく必要があると思う。



手洗い、手指消毒、3密の回避、外出時の感染症対策

濃厚接触者を出さない環境づくり。どの教員も同じ対応がとれるような体制づくり。

三密回避

その感染症の特徴を確実に捉え、冷静に判断し、全体を動かしていくリーダーシップ性が必要である。

感染症に対する危機意識や危機管理を全職員が持ち、教職員が感染症に対しての知識理解を深める事。新たな感染症ではないが、麻疹等の予防接種2回をしていない職員がいたり、抗体検査を受けていない職員が多くいる。啓発をしても行ってくれない。国や県レベルで教職員の意識が変わるような対策をしてほしい。養護教諭の立場上、話はするがなかなか難しい。

感染症対策を実施するにあたり、制限を加えられる教育活動への手立て。電化製品を使用することが多いので、コンセントの設置（延長コードがあちこちに伸びていて危険）

必要な備品を購入するための、予算の迅速な確保。

感染症予防と集団生活・集団活動は相対するものである。何の対策をするにもマンパワーが不可欠である。学校で働く教職員を増やすべきである。

人手不足の解消。子供たちの距離を離す指導に人手が必要。特に小学校や幼稚園、保育園において。

子どもへの保健教育

情報が必要、児童生徒や職員が納得して、行動ができるようにしたいです。

生活習慣を整えること。

組織的に対応するためのマニュアルの周知徹底

基本的な感染症対策を行う。教職員、保護者等で感染対策の徹底と感染対策の方針をきちんと共通理解する。

サーベイランスを充実させ校内のみならず地域の感染状況をタイムリーに把握することが必要。

生徒が健康意識を高められる健康教育を行う。

感染症対策を的確に行いつつ、大げさすぎない対応。

教育委員会との密な連携と対応を保障するための人と予算

新型コロナ流行直後は、アルコール消毒液やシャボンネットの需要が増えたため、学校で購入（入手）することが困難であった。対策を十分にしたくても、物資がなければできない。学校に必要な物資（アルコール消毒、使い捨て手袋、マスク、手洗い用ハンドソープ等）が届く体制づくりが必要。



環境の整備、衛生指導

家庭と学校をつなぐ授業の充実

小学生は症状を自覚するのが遅い場合があるので、自動で体温測定ができる機器等があると

他 240 件の回答が非表示になっています



1 1. 学校における新型コロナウイルス感染症予防について、ご意見をお願いいたします。（自由記載）

262 件の回答

特にありません。

特になし

手洗いを推奨したいけれど、水道の蛇口が足りない

・黙食など生徒が守っているのに飲み会などあるこの矛盾。いつまで前向き給食で黙食ですか？・養護教諭が学校の感染症対策の一手を担っているすぎる。未曾有の事態に我々も対応しきれず荷が重い。・予算が配布されたが、例えばどんな対策のために何をかうといいのか、この規模の学校でおすすめは何かなど情報がほしい。今後の新しい感染症のときにはぜひほしい。

今まで同様、密を避ける、換気、消毒等の対策を続け、定着させていく。

集団生活なのでクラスターにならないよう早めの対応する。

換気、ソーシャルディスタンスの徹底、消毒活動の推進、手洗い

濃厚接触者の洗い出し作業が負担だった。

新型コロナウイルス感染予防のための予算が今後も必要だと思います。

早く5類相当にしてほしい。現場は対応に疲弊している。マスクも外したい

学校でやれる予防には限界があります。

すでにやれることはやっています。

予防しつつ、できるだけ子どもたちにも今まで通りの活動をさせてあげたい。

コロナ対策費で必要なものを揃えるにあたり、項目が決められているため購入できないものもあります。購入できる項目を増やしていただきたいです。

学級閉鎖が相次いだ時期は、マスク着用の大切さを実感しました。児童の発達段階や家庭によっては正しいマスク着用が難しいケースも多いので、啓発の仕方が難しいと感じました。

濃厚接触者の待機期間は、子どもの場合は7日間でも良いのではないかと。7日間は、健康観察を・・・とあるが、十分な健康観察等保護者の協力が得られず、登校後に感染が確認されることがあった。

体育の時間や外での活動はマスクを外す指導をしても、外せない生徒がかなり増えている。指導者としては熱中症等の懸念もあり、指導はしているものの、どのように対応したら良いのか。コロナ禍における生徒への心身の負担は、かなり大きいと感じている。

広い校舎内での消毒作業は、日々業務を行う職員にも大きな負担になる。そのため、消毒員の配置は負担軽減につながっており、助かっている。今後も、人件費などの検討事項もあると思

うが、配置を継続していただきたい。

コロナ感染が長引くにつれ、感染防止対策が科学的に有効か否かが、あいまいになっている面がある。いまだに職員室を仕切るパーテーションは本当に有効なのか？科学的なことを踏まえた上での正しい対策を示して欲しい。

初期段階で国内の全ての学校を長期に渡り止めたのは愚策。悪影響は当時小6の子どもが受験する来年度の全国学力学習調査の結果に現れると予想する。また現在でも校内感染より家庭内感染の方が多いのではないか。それを校内に持ち込ませない、また校内で広げないための方策が必要と思う。

いつまで新型コロナウイルス対応が続くのでしょうか。元の生活にもどしてもいいのではないのでしょうか。インフルエンザのような扱いにはなりませんか。

コロナ予算がつくのはありがたいが、多すぎると思う。

限界がある。

学校環境のすべてを毎日消毒することは難しく、今は有症者が使用した場所を消毒すること、手指を消毒することにとどまっています。今は、物の消毒よりも、換気やマスクの着用、手指の消毒を徹底して行っています。ただ、教室は余分な教室がないこと、1クラスの人数が多いことから、普通教室ではほとんど距離が確保できていない現状です。

また、学校内での感染症対策は徹底していますが、夏季休業中の家庭での過ごし方など、学校は関与できない部分で感染が拡大してしまっているのが難しいところです。

マスクをしながらの学校生活は、大変です。マスクをしなくても良い日が早く来てほしい。

病休や産休の職員いる中で、さらに職員の感染や濃厚接触者が続くと職員の人数が足りなくなり他の職員の負担が大きくなった。職員の確保をお願いしたい。

分散やリモートで教育する場合、人員の確保をしてほしい。また、消毒等の新たなことに時間を割かれていたり、報告のための時間が必要であったりするので、その手立てが欲しい。

実際にはソーシャルディスタンスは確保できていない。また、発熱しても検査を拒否する家庭も複数あり、価値観が多様な中、対応に困難さを感じる。

学校の感染対策は限界です。子ども達は毎日の検温、マスク着用や消毒、密を避ける等しっかり守って生活しています。が、家庭内感染で休まざるを得ない状況になるケースがあり、学ぶ機会が失われたり、感染予防のために学校行事が中止になったりと、子ども達の思い出や成長の機会が奪われているのは現実です。どちらをとるのが正解かは分かりませんが、できるだけ制約のない学校生活を送らせてあげたいです。

この3年間でそれぞれの地方の教育委員会からの感染予防の基本方針も細かく代わっていくので、しっかり把握するように努めています。

やるべきことは、徹底して行っているので、インフルエンザと同様の扱いができればありがたい。

世間がGo Toする中、学校で対策を続けることが疑問である。



学校より、学童の対策が必要と思う。学校は、スポーツから広がっている。ここ1年は総体後に対戦相手からもらう、移動のバス車内で長時間待機する過程で移っているように感じる。

いつまで継続すればよいのでしょうか。

学校で実施できる感染症予防は限られているので、今後も基本的な対策を続けていく必要がある。そのためには、今後もサポートして下さる方や消毒等に使用する物品が必要になってくる。また、さまざまな制限の中で生活している子供たちのいま、そしてコロナ後の心身のケア、学習支援への対策も必要である。

換気、手洗い、マスク着用など一般的な感染対策をがんばるしかないと思っている。それをして感染したなら仕方ないと思うしかない。クラスの人数が40人の学級もあるので、距離をとるなど限界がある。自己免疫をあげるための規則正しい生活習慣の指導（特に睡眠）に力を入れたいと取り組んでいる。

健康観察、換気、アルコール消毒などできる対策は実施しているが、他に何かポイントがあれば知りたい

学校での感染症予防対策を実施していくのは難しいと日々感じています。教員、保護者、児童生徒それぞれの意識の違い・児童の発達段階によって理解力の差等があり、感染予防を徹底しながら、学校生活を実施していくのが難しいと感じています。特に、風邪等の症状があっても、登校する児童や出勤する教員もあり、まだまだ休みにくい雰囲気はあるのだと思っています。

また、個人的な意見ですが...妊娠中に養護教諭として勤務しており、在宅勤務もできず、体調不良児童の対応をすることがとても不安でした。（実際陽性児童の対応をした2日後に自身もコロナ陽性になりました）病院とは異なる環境で、フェイスシールドやガウン等を着用することもできません。妊娠以外にも基礎疾患がある教員も在籍していますが、学校現場では在宅勤務が制度として利用できても、実際利用できる状況ではありません。基礎疾患のある児童へのオンライン配信も、ただ授業の様子を流しておくだけという形しかできません。（ただでさえ担任は多忙なので、それ以上の対応をするのは別途ICTの利用できる教員の配属が必要）コロナウイルスと共存していくことが大切であり、どんどん行動制限等緩和されてはきていますが、今後は重症化リスクのある児童生徒、教員をどのように支援配慮していくべきか、検討が必要だと思っています。

生徒や保護者の方、教職員にかなり多くのことをお願いしたり、協力してもらって現在の対策が成り立っていると思います。3年目となり当たり前のこととなり負担に感じていない可能性もありますが、いつまでこの状態が続くのか先が見えないことで負担感が大きくなっていると感じます。もう少し見通しとメリハリがあるとがんばれると思います。

情報が刻々と変化して、対応に混乱することが多い。

免疫力を生活を生徒本人が意識できるような教育

疾病に関するとらえ方が流動的で行政と教育機関との報告の仕方に差があるため、不明確な部分がある。

普通のかぜとみなして学級活動を正常にもどしてほしい。児童の心のひずみが今後5年後10年後でてくるのではないかと大変心配している。



学校は可能な限り対策を講じているが、施設上、感染拡大防止は難しい。

基本的な感染対策の徹底と家庭への啓発

感染防止の対応について温度差があると感じた。ある行事は厳しい制限があるが、ある行事では制限がゆるいなど、一貫性がないと感じた。エビデンスに基づいた正しい情報とともに具体的な統一した対応を示してほしい。

学校は集団生活のため、特に大規模校においては、密を防ぐことは難しい。現在、本校では、給食時間や石けん手洗い・換気等可能な範囲での予防対策を行っている。家庭での予防対策については、保護者が主になって行う場合が多いと思うが、生徒が学校で学んだ知識を家庭でも活かし、保護者を巻き込んでより良い感染症対策ができれば感染リスクの減少につながるのではないかと思う。

学校の大きな負担とならないように、できる範囲で行う。

学校の規模や児童の実態にあわせた感染症対策が必要で、教員間の意思疎通や感染症対策の共通理解が重要だと感じている。学校内で足並みを揃えた感染症対策が必要。

出席停止となる体調不良の指標が統一されるっよいと思います。現在は発熱などという書き方でその他症状については各校の裁量になる部分があり判断に悩むことがあります。また、出席停止中の学習機会の確保について具体的な指針があるとよいと考えています。

国からの補助金があったおかげで、アルコール消毒等の環境面での対策が十分できたが、今後補助がなくなった場合は同様の対策をしていくことが難しい。

「学校の新しい生活様式」などのマニュアルを迅速に出してほしい。

感染症対策を継続すること。

必要なことは何かを見直していく

感染症からの復帰時期の見直し

感染防止に係る学級閉鎖をするかしないかは、法的には校長が唯一決定権を持っているはずだが、実際には決定権のない行政の指示に沿っている。今はそれでよくても、子どもたちが将来、コロナの後遺症などで不利益を受けた場合、そしてあの時学校を閉鎖していれば防ぐことができたのにと結論づけられたら、法的に責任を負うのは校長ということになる。早急にコロナ時代に合った法律をつくる必要があります。

予防は大切ですが、あれこれ制限することはよくないと思います。マスク生活など、いつ終わりにすべきか。始めるのは簡単だけど終わるのは難しい。

上記記述と同様、感染対策用の予算をお願いしたい。

学校は集団活動の場なので、感染を防ぐことは困難です。一人一人の感染拡大防止に対する意識の向上が必要不可欠であると考えます。



学校は集団生活でインフルエンザの時もそうですが、感染症が起こりやすい環境にあります。コロナ禍も長くなり予防対策はいつもと変わらずしているつもりですが、感染者の心配は尽きません。消毒用アルコールやハンドソープ、手袋やペーパータオルなどの消耗品は必需品ですがいつまで予算がつくのかいつも不安です。予算だけはコロナ禍が終わるまではお願いしたいと切に願っています。また、早く抗ウイルス薬ができて欲しいと思っています。

感染者数の増加により、学校行事が中止されたり制限されたりする。生徒同士の関わりやコミュニケーションが低下するとともに、SNSに頼るコミュニケーションが多くなっていると感じる。SNSトラブルも多くなっていると感じる。

児童や先生、保護者の予防意識が、マンネリ化しないように、繰り返し、指導を強化していきたい。手洗いチェッカーで視覚化したり、ウイルスの飛沫の様子を見たり工夫していきたい。

学校の思いと保護者との認識にズレがあり、体調不良時の対応で困ることがある。また、換気や手洗い、消毒など学校でできることに限界がある。

感染拡大を防ぐためには仕方がないですが、現在の基準では学級閉鎖になる学級が多すぎます。

待機期間を短くする等、生徒に対する影響を少しでも小さくしてほしい

コロナ禍以前はしていなかった感染対策(校内消毒、体温チェック等)について効果を検証していただき、してもしなくてもさほど変わらないような対策は負担軽減のために削減していただきたい。

病気やけが、その他にも相談対応など、常に多忙で対応がとても大変でした。

文科省から降りてくる予防対策・改訂版等が毎回内容が多すぎて、読んで覚えて教職員に広めて学校内で統一して実施することまでが本当に大変だった。

生徒同士の密着については、休み時間まで監視し、離すことは難しい。かといって、休み時間も席に座らせておくのも生徒の心の健康などを思えば、違うと思う。感染対策しながら、中学生らしく楽しい学校生活を送ってほしい。

学校での感染者を出さないことを最優先に考え、家庭から学校へ持ち込ませないことが重要である。

インフルエンザ並の対応にしていきたい

教室の大きさに対して生徒数が多く、生徒間の距離をとるのが大変である。1学級の生徒数(定員)を減らす政策をぜひ実現していただきたい。

マスク・手洗い・消毒の意識は高く、日常化されている。マスクの常時着用によって、マスクをのけて顔を出すことが嫌だと感じている生徒が増加している。

熱中症とコロナ対策と課題が多いです。
消毒にかかる労力が大きいです。



濃厚接触者の待機期間について不安があります。「症状なし、かつ、抗原検査を2・3日めに実施し陰性であれば登校可」についてですが、家庭によって実施キットの性能や実施方法に差があるからです。また、抗原検査は陽性を判定するものであり、陰性を証明することは難しいとこれまでの経験から学んだからです。

密を避けるのは難しいです。少しずつ通常に戻していきたい。マスクも体育でつけてない以上、授業でつけるのは意味があるのかわかりません。

予防方法はある程度わかっているので、それを続けていくしかない。第5類になるといいとは思いますがインフルエンザより重症化率が高いといわれているため、難しいのだろうか。ただ、宮崎市内は、報告方法も簡素化されてきたのでありがたい。

完全に予防することは困難かと思うが、複数の感染対策を併用して継続的に行うことを実施していきたい。

このようなアンケートが官民様々な機関から、たくさん学校に届きます。ぜひ、医師会や関係官庁が協力して、アンケートの一本化をお願いしたいです。

熱中症予防と感染症予防の両立は難しい。

消毒等を継続していく必要があるか。

コロナ発生当初は、学校活動の実施の可否について意見を求められることばかりでした。ガイドラインには記述のない、細かい学校での活動については全て実施するかどうか養護教諭に委ねられているような、そんな感覚で精神的負担が大きかったです。難しいとは思いますが、もっと細かなところまで県や市で統一した指示を出してくれれば...と思っていました。

今後は、コロナ対策とは違うかもしれませんが、マスクをどう外させるかが課題かなと思っています。この暑い夏の間、どれだけ声をかけても外さない生徒がかなり多かったです。今はまだですが、コロナが終息した時に、果たしてどれだけの子がマスクを外すのだろうと感じています。

対応の変化についていくことが難しい、学校に情報が来る前に新しい対応に変わっていたこともあり、常に県や文科省のHPをチェックする事になった。

感染対策に意識の差があり(生徒も教員も)対策案を打ち出しても統一されず困っている。また対策に必要な物資を購入する費用が少ない。

教室に40人が入って学習する以上、できない対策が多くあります。しかし、いろいろなことを中止にするのではなく、withコロナでできることを探っていくように学校を運営していきたいと思います。

保健所が機能しなくなり、濃厚接触者の指定等をせず、学校に丸投げする事態になりました。学校は感染症対策を厳格に行い、指導していますが、学校外での感染を防ぐことはできません。児童生徒の陽性者が増えると、学校の対策不備を一番に指摘される風潮がまだまだあります。すでに、未知の病ではありませんので、是非、陽性者、濃厚接触者の対応の改善を願うところでもあります。

学校における感染予防は家庭の協力を得られるかがとても大きいと感じます。



熱中症予防との兼ね合いが難しい。

人によって考え方が違うので難しい。過剰にならず、かつ効果的な感染予防対策をしていきたい。

感染症疑いの生徒と精神的な悩みを抱えている生徒が同時に来室した時は、バタバタし丁寧に対応できないこともあります。他の先生方もお忙しいです。人が足りないと感じます。

学校教育を止めないことには賛成だが、学校の教室の大きさや廊下の広さ、教室の数など決まった中で密にならないように（マスク外すのには会話無しで2 m以上が推奨されているが）生活することは無理である。それでも通常の生活を送る生徒同士の感染はなかった（特別な濃厚関係の生徒同士はあり）。報道で言われるような学校が始まったから感染拡大したという感じはない。家族間の感染で陽性になる生徒が2学期多くはなっている。

色々な制限があり、子供の心が心配。不登校も増えたと感じる。学校は感染対策をしながらも活動をやめないことが大切だと思う。また、濃厚接触者は家族だけでよいのではないか。学校は気を付けて活動している。これまで濃厚接触者の特定をしてきたが、実際陽性になった児童はごくわずかだった。

コロナ初期のようなメディア報道はやめてほしい

国からの補助等があり、備品や消耗品を揃えることができ、感染症予防を充実することができ、クラスターの発生を抑えることができた。

今年度までは国からの補助で、感染対策にかかる資材を購入できているが、国からの補助がなくなると資材の購入が難しくなる。

自宅待機期間等の指示が保健所から明確に発出されず、学校任せになり困惑している。

小学生にとって、予防を意識し続けることは難しいことなので、とにかく指導し続けることが大切だと思っています。

学校と一般社会において、温度差がありすぎる。生徒達は我慢を強いられながら、真面目に感染対策に取り組んでいる。

コロナが流行し、家にいるため、コミュニケーション能力の低下や、マスクを外すことの不安もあり、人間関係づくりが困難になっている生徒が多く心配。

予防については、慣れがでてきていて、心配。

クラスターをおさえるには限界がある。過剰な予防策は必要ないと思う。

職員への負担が増えているので消毒など支援をお願いしたい。

対面授業ができなかったり、マスクを外してうたを歌えなかったりと感染対策のために教育活動に制限を強いていますが、校内でクラスターが起きずに済んでいるのは全員が予防意識を持って取り組んでいるからだと思います。今後も出来る範囲で対策しながら感染対策を進めていきたいと思います。



消毒作業をしてくださる方の派遣をして欲しい。

他 160 件の回答が非表示になっています

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

